

2020年度  
国立市役所講演会

2020年12月18日(金)  
於:国立市役所会議室

# 学校に行けず、苦しんでいる子どもたちの 現状と課題及び支援と援助のあり方

—子どもの居場所作りを考える—



白梅学園大学  
子ども学部子ども学科教授  
増田 修治

# 第1章 埼玉県K市の現状と取り組み



# K市での「ネットいじめ」による自殺

## 中1飛び降り自殺 K市

2003年2月 朝日新聞 埼玉版

三十日午後六時ごろ、K市内のマンション（六階建て）一階エントランスホールで、女性が血を流して苦しんでいるのを住人が発見し、一一九番通報した。女性は市内の病院に運ばれたが間もなく死亡した。

K警察署の調べでは、死亡したのは市立中学校一年の女生徒（12）。女生徒は男女交際で悩んでいたらしく、友人に電話やメールで「死にたい」と話していたという。同署は女生徒が飛び降り自殺したとみて調べている。

# 原因はなんだったのか？

- 1、中学校デビューの問題。
- 2、中1の男女のボスがつきあっていた。
- 3、AKB48のような可愛い女の子
- 4、部活で、ひどいいじめを受ける。
- 5、次々と送られてくる匿名メール
- 6、今の子どもにとってのSNSの存在
- 7、友だちに早朝4時に実況中継をしながらの自殺。
- 8、死ぬまでの長い苦しみ
- 9、問題をあいまいにしたことのツケ

# いじめ訴訟で和解

埼玉・K市の中学2年いじめ訴訟で和解成立 市と同級生らが1億9千万円支払う

埼玉県K市で平成24年、同級生から暴行を受けて寝たきりになった当時中学2年の男性(20)と母親が、「いじめを放置した」などとして、市と同級生らに損害賠償を求めた訴訟は10日、東京高裁(永野厚郎裁判長)で和解が成立した。市によると、市と同級生側が男性側に解決金約1億9700万円を支払う内容。

1審さいたま地裁K支部判決によると、男性は24年1月、中学近くの公園で同級生3人から暴行を受けた。同支部は、暴行はいじめの一環で、教員らは男性の生命・身体に危険が生じることを予見できたのに、生徒指導などの適切な措置をとらなかったと指摘。市と同級生に約1億4800万円の賠償を命じたが、双方が控訴していた。

高裁は1審の判断を支持する見解を示し、今年4月から和解協議が進められていた。解決金は、1審の賠償額に遅延損害金加わった。原告側代理人によると、男性の母親は和解を受け入れ「男性の介護を続け、できるだけ長い時間一緒にいたい」と話したという。K市市長は「市の過失が事件につながったと重く受け止める。再発防止に向け努力したい」と話した。

# K市が自治体初導入、子どもたちがスマホで いじめの匿名通報ができる「Kids' Sign」

アディッシュ株式会社は、子どもたちがスマートフォン・携帯でいじめの匿名通報ができる新サービス「Kids ' Sign(キッズサイン)」が埼玉県K市教育委員会に2016年4月より採用され、K市の市立中学校22校および市立高等学校1校に導入されたことを発表。

## ●K市は、いじめの早期発見、早期対応を目的に導入

K市教育委員会教育指導課の担当者は、導入の経緯を以下のように話されています。

「K市は、平成24年度より、民間企業に委託してSNSや掲示板等インターネット上の書き込みをパトロールする事業を実施してきました。また、同時に、民間企業にネットトラブル防止に関する各種提案を求めることで、子どもたちをネットトラブルやネットいじめから守る手立てについて検討してきました。そして、K市としては、民間企業のノウハウを活用し、いじめに苦しむ子どもを救いたいと考え、今回、匿名いじめ通報サービスの導入に至りました。まずは来年3月までの試験導入で、いじめの早期発見の取り組みを進めるとともに、いじめ行為の抑止効果も含めて検証していきたいと考えております。」

## 第2章 「家庭崩壊」の中にある子どもたち

- 1、家庭訪問で見えてきたたくさんの問題  
(6年生)
- 2、その他の子どもたちの現状は？
- 3、5年生の時の様子を前担任に聞くと…
- 4、学年での取り組み開始
- 5、学級づくりの方針

# 1、家庭訪問で見えてきたたくさんの問題(6年生)

## ①机の中がグチャグチャで忘れ物が多く、だらしない芳男

☆「ちょっとだらしないのですが、どう思っていますか？」



○「すみません。」

○「なにしろ世話をする時間がないものですから…」

☆「アレ？ どういうことですか？」と丁寧聞いてみた。



○「父親が家具の輸入・販売の仕事をしていたのですが…。身体をこわし入院したため、入院費や会社が倒産しての負債をたくさん抱えてしまったんです。今は二人で借金を返しているところです。だから二人とも帰りが12時過ぎになってしまいます。そのため、芳男の世話は、兄と姉にまかせっきりなんです。」



☆何も好きこのんでだらしがなかったわけではないんだ！

## 2、その他の子どもたちの現状は？

- ①父子家庭が2人
- ②12時過ぎでないと両親が帰ってこない子が1人(芳男)
- ③母子家庭が1人
- ④ノイローゼ気味の母親と毎日ケンカしている子が1人
- ⑤5年生の時、1年間で243日中175日休んだ子が1人
- ⑥両親ともに障害を持っている子が1人
- ⑦特別支援が必要な子どもが2人
- ⑧30人学級であることを考えると、高い比率だった
- ⑨学級全体の雰囲気は、落ち着きがなく、低学力の子どもが多かった。



☆頭がキリキリし、胃がシクシクする毎日だった

### 3、5年生の時の様子を前担任に聞くと…

- ①自習が不安でさせられなかった。
- ②物がよくなった。
- ③ジャンバーが刃物でズタズタに切り裂かれる事件があった。
- ④クラスでケンカをしている子がいても、自分に関係がなければ誰も止めようとはしなかった。
- ⑤忘れ物が多いし、宿題をして来ない子も多い。
- ⑥男子と女子の仲が陰悪ムードだった。
- ⑦学年で独自に学力調査を試みた。なんとか達成している子は？
  - ・計算力→12人(13.3%)
  - ・漢字の読み→55人(61.0%)
  - ・漢字の書き→19人(21.0%)

## 4、学年での取り組み開始

☆学年で話し合って、次のような方針を立てた。

- ①仕事好きな子どもたちにすると共に、自治力を育てる。
- ②読み・書き・計算の基礎的な学力を、どの子にも保障する。
- ③学年での取り組みを基礎として、各クラスが良い影響を与え合うように組織する。
- ④子どもの頑張りを認め合い、他のクラスの子どもの様子についても担任同士が交流する。
- ⑤卒業式へ向けての長い見通しの中で学年づくりをしていくと共に、一つひとつの取り組みを有機的につなげていく。
- ⑥学年やクラスの中に、前進的な雰囲気をつくり出す。
- ⑦後追い指導にならず、子どもの問題を先取りして指導する。

## 5、学級づくりの方針

- ①登校拒否(怠学)傾向にある子どもに取り組み、学校へ来られるようにすると共に、彼の良さを認め励ますことのできるクラスにする。
- ②家庭崩壊をしている家の子どもにみんなで取り組み、みんなで出来るようになる取り組みを進める。
- ③生活に追われ、わが子へのゆとりをなくしている親たちであっても、わが子を心配する親心は共通なものであり、その一見無関心に見える親たちであっても、その底に流れる親心を曳き出し、よりそっていけば、わが子への思いを新たにしていこうことを信じて実践を進めていく。
- ④そうした親たちの思いを曳き出すことによって、他の親たちの思いも曳き出されていくはずである。そして、その相互の思いを交流することで、子どもたちへの新しい見方を曳き出し、父母をつなげていくようにしたい。
- ⑤わが子が確かに変わった一という思いを基礎にして、上のような交流をつくり出していけば、親同士・子ども同士の響き合いや高め合いが生まれていくはずである。
- ⑥こうした一連の取り組みによって、学級を前進的なものにしていきたい。

# 第3章 「怠学」ではなかった安男



# 1、安男のことで、わかったこと

- 1、安男のこと→243日中175日の欠席
- 2、5年のはじめに少し出席し、あとは5年生の3学期  
終わりごろに少し続けて登校した。
- 3、子どもたちのうわさ
  - ・家の前でサッカーをしていた。
  - ・買い物に出かけていた。



- 4、明らかな「怠学傾向」なのではないか？
- 5、5年生の担任が、3学期に教頭と親のところへ行っ  
て話をしたので、少しは来るようになったらしい

## 2、安男と双子の兄のこと

- 1、安男には双子の兄がいた。
- 2、兄は幼児期に母親とうまくいかなかったらしく、赤ちゃんの時から母親に嫌われ、段ボール箱の中で犬のように育てられ、ミルクも与えられなかった。
- 3、このままでは、双子の兄が死んでしまう。  
→近所の人が生活保護司に相談し、施設にあずけられた
- 4、3歳ぐらいまで施設で育てられた兄が、家に戻されたが、母親はあまり世話をせず、食事もきちんと与えられなかった。
- 5、そのためお腹がすいてたまらないので、近所のお店で食べ物をとっては食べていた。
- 6、その結果、兄は万引きの常習になってしまった。

(今が、なくなったが…)

### 3、安男の様子と家族関係

- 1、安男は小さい時から病弱だった。そのため、母親の関心を一心に受けていた。
- 2、兄と違って気があったため、母親に色々世話をされていた。
- 3、病弱だったため、過保護に育てられ、子どものわがままは何でも通るという母子関係になっていった。
- 4、家族関係
  - ・兄と姉がいるが、この2人とも学校に行っていない。
  - ・父親とは、4歳ぐらいの時に離婚したが、3年ほど前にまた同居しはじめた。籍は入っていない。
  - ・近所の人話では、父親は非常識であり、犬を家の中に3匹ぐらいかっけていて、近所迷惑な行為が多々あった。家の中もくさくて仕方がなかった。

## 4、私の中の安男像について

- 1、こうした状況で育てられたのだから、きっと過保護に育てられたに違いない。
- 2、耐える力がない。
- 3、母親も「学校に行きなさい」と要求できないに違いない。
- 4、前の担任も言っていたが、安男は怠学で学校に来ないんだな。



※安男を受け持つ前の私は、安男・母親に対してこの程度の認識しかなかった。(恥ずかしい話だが…)

## 5、準備出勤での様子

1、4月6日の準備出勤での出来事

2、基本的には前の担任が子どもたちに指示をする

3、子どもたちの様子を知りたかった私は、6年生の子どもたちと一緒に意図的に作業をした。

4、机やイスを運んでいる時に、何人かの子から「ねえ、6年生は増田先生が担任するの？」と聞かれる。

5、「そうだよ！」と言いたいのをがまんしてとぼけ、「もし、そうならどうする？」と聞いてみた。

6、「エーッ、イヤダ～！」とニタニタ笑う女の子、黙っている子、「さあねー？」と横を向く子などがいた。

7、作業も終わりに近づいたころ、安男と利明の2人が「僕達の担任になるの？」と聞いてきた。

8、「もしそうなら、どうする？」と聞くと、安男は「別に…？」と答えたが、嬉しそうだった。

9、もしかすると、始業式の日に登校してくれるかも…？ いや、たぶん来てくれるさ！

## 6、やっぱり来なかった安男

- 1、始業式前日、「明日、安男が来てくれるといいなー。いや、多分来てくれるさ！」と、良い方に解釈していた。
- 2、しかし、安男は来なかった。
- 3、始業式で並んでいる子どもたちのそばを何気なく通りながら、安男の姿をさがしたが見あたらなかった。
- 4、期待していただけに、なんとも言えない淋しい気分になって、「やっぱりだめだったかー」と、小さな声でつぶやいてしまった。
- 5、教室で学級開きをした後、「明日はどうか来ますように！」との祈るような思いだった。
- 6、2日目も来なかった。
- 7、仕方がないので、5年生の時比較的仲が良く面倒もよく見てくれていたという歩と達也にお迎えをたのんだ。

## 7、放課後、家に電話をしてみると…

- 1、放課後、安男の家に電話した。「あの～、3小の増田ですけど…」と言うと、母親は「ハア？」と誰だかよくわからないという返事をしてきた。
- 2、学級通信を渡したのだから、読んでいてくれてもいいのにと考えた瞬間だった。
- 3、新しい担任であることを告げると、やっと理解してくれた。
- 4、休んだわけを聞くと、「調子が悪かった」とのこと。そして、「明日は行けると思う。」と返事してくれた。
- 5、とりあえず電話を切ったが、「次の日は来るだろうか？」と不安な一日を過ごした。
- 6、3日目の朝、歩と達也が迎えに行ってくれた。
- 7、なんとすでに学校に行く用意をして待っていた。
- 8、3日目に待望の安男が学校に来て、みんながホッとした。

## 8、歩の生活ノートから

4月10日(金) 星野 歩

今日、安男君を学校に行くところ、よびに行きました。うれしいことに、安男君は自分からよんでもいないのに、ちゃんと出てきました。

ぼくは安男君が学校にくるのはあたり前なのに、えらいと思ってしまいました。どうしてなのでしょう？ それは自分でもわかりません。(後略)

## 9、母親との話し合い

- 1、安男がやっと来たが、またいつ来なくなるかわからない。
- 2、5年生の時に教頭と5年生の担任が親を説得したら、翌日から一応学校に来ることになった。



3、安男は怠けで学校に来ないし、母親も子どもに要求できないだらしない親なんだ。だから「登校刺激」を与えれば学校に来るはずだ！—そう思い込んでしまった。

### 4、校長と相談して決めたこと

- ①どうしても母親がわかってくれない時は、校長と一緒に後日家庭訪問をしてくれること
  - ②母親にある程度プレッシャーをかけておくためにも、「このまま休みが続けば、そう簡単に卒業させられないこと」を伝えるので、校長もそのつもりでいて欲しいし、母親から連絡があったら、同じ旨の話を母親にして欲しい
  - ③校長も担任と同じように考えている旨を母親に伝えること
- 5、家庭訪問で、母親は恐縮して聞いていた。しかし、これは強引すぎる内容だった。母親は後日「怖かった」と述べている。

## 10、学年の取り組みで、安男が意欲的に

- 1、3年生の時から休み始めていた安男にとって、どの教科も理解が不十分だった。
- 2、特に算数はわからない教科の一つであった。基礎的な計算さえまともに出来なかった。
- 3、とりあえず、九九の計算練習から始めた。
- 4、7の段と8の段を中心にして、ノートに書かせたり、何回も練習させた。マンツーマンで徹底的に教えた。
- 5、なんとか全部九九が言えるようになった時、「安男、やったじゃないか！ たいしたものだ！ やればできるじゃないか！」と言って、かたい握手をした。
- 6、「エヘヘヘ…」と照れ笑いをしながらも、うれしそうだった。
- 7、その時以来、宿題以外にも計算練習をするようになっていった。そのたびに、頭をゴシゴシと少し荒っぽくなぜてやった。

# 11、伸び率を基礎にほめていった

1、他の子と比べると、計算が遅いので、伸び率を中心になって学年やクラスで評価していった。

2、もともとが低い点数だったので、伸び率はほとんどベスト5に入っていた。

3、安男の作文

ぼくは、6年生になって計算が出来るようになってきたと思う。伸び率はいつも上の方だし、頑張ってやっていけばできると少し思えるようになってきた。

なかなかきれなかった計算プリントで、3分を切ることができるようになった。とてもうれしかった。

みんながいつもおうえんしてくれたのもうれしかった。

## 12、母親が変わり始めた!?

「分数÷分数」で、なぜひっくり返して計算するのかを授業でやった。その後、そのやり方を父母に説明してくるという宿題を出した。その時の安男の作文である。

### 「計算のしかたを説明した時のこと」

今日の2時間目は算数でした。今日は分数のわり算でした。ぼくは、ずーっと先生の話聞いていました。いみがわかったときに先生が「今日の生活ノートには、分数のわり算でどうしてひっくり返すのかを説明した時のことを書いてくる」という宿題を出しました。

家に帰ってお母さんに聞きました。お母さんが「どうして？」と言ったので、ぼくは「しょうがないなー。」と言って教えてあげました。「すごいじゃない！」と言ったので、「すごいでしょ！」と言ってしまいました。「でも本当は先生が考えたんだよ。」と言ったら、「やっぱり増田先生はすごいわね！」と言って二人で大笑いしました。

# 13、2学期になって休み始めた安男

## 1、夏休みの「算数教室」

- ・1日目…忘れていたと、途中から参加
- ・2日目…父親と海づりに行ってしまった

※合格するのも、あと一歩だったのに…

## 2、2学期になって

- ・9／21現在で、16日中9日休んだ。
- ・長い休み明けであることと、運動会がプレッシャーになっていた。

## 3、休みの理由

- ・友だちのプリントをかりたら見つからないので休んだ。
- ・カゼをひいたので休む（前日はすごく元気だった）
- ・海づりに行って疲れたので休む

4、1学期の終業式直前に、安男の家に行った。すると、「先生のおかげで1学期はほとんど休まずに行ってくれた。うれしくて…」

5、その気持ちを手紙に書いてきて欲しい旨を伝えた。

6、2学期になって、ノートから切り取った4枚もの手紙をもらった。

# 14、母親からの手紙①

## 武田さんからの手紙

—わが子への思いを綴る—

1・2年生の時は、朝霞第五小学校でした。そのときは、良くがんばって登校していました。

そして、4年生から、朝霞第三小学校に入りました。4年生の時、最初は良く行っていたのですが、だんだん学校へ行かなくなり毎日家にこもりがちでした。私は最初は子どもに何も言わなかったというより言えなかった。病気で休んでいると思い…。

時すぎて、また学校に行くようになり、私はうれしかった。でもまた登校しなくなりました。4・5年生の時も、少しは学校に行ったのですが、また登校をしなくなりこまりました。

## 15、母親からの手紙②

私一人、悩みました。お兄ちゃんもお姉ちゃんも、良く話をしてくれましたが、だめでした。毎日が、私にとって長い時間でした。私は私なりに、子どもの事を良くたのみました。それが、私の毎日の仕事でした。学校に登校しなくなってから、何ヶ月間ずっとお願いをつづけました。

5年生の時です。やっぱり最初の時は良かった。でも、5年生の時も登校をしなくなりました。毎日、同じことのくりかえしでした。5年生の終わりごろ、担任の先生と教頭先生が家に来て、子どもにいろいろ話してくれました。「学校の門を入るだけでもいいから学校へ行こう」とすすめてくれました。なれるまで、2・3時間学校へ行って帰るというくり返しでした。でも、私も私なりにうれしかった。子どもが登校してくれたただけでもうれしかった。

## 16、母親からの手紙③

6年生になってからです。毎日朝早く起きて、自分の事をして、学校へ登校するようになりました。

みんなに、「ずいぶん人間が変わったね」と言われ、夜遅くなっても、朝は早く起きるようになりました。

今まで、本当に悩み、毎日がつらかった事が多かった。母にもその事を話し、友だちにも話しました。

「あなたががんばってお願いを続けたから、良い方向に行ったのよ」その時私は、仏だんの前で「ありがとうございました。これからも、子ども守って下さい」とお話をしました。

安男は、学校に行くことが毎日の楽しみなのです。お兄ちゃんにもお姉ちゃんにも、「ずいぶん変わったね」と言われるようになりました。「自分は勉強を、一生懸命やらずにちゃ」と言っています。「休んだ分まで頑張る」と、自分で言いました。

学校から帰って来て、宿題をやり、遊びもしたり、自分なりにやっています。何ヶ月も休んでいた子が、色々な勉強をして、先生から一杯賞状をもらい喜んでいる子です。私もがんばった。それなりに子どももがんばってくれた。私にとって幸福です。学校に登校するようになって、私は本当に良かったと思っています。

## 17、この手紙について

☆便せん4枚に書かれた手紙で、頼んでから1ヶ月も経ったものだった。

### ○安男のお母さんの言葉

「先生、こんなに長い手紙をこんなに本気になって書いたのは生まれてはじめてなんです。」

☆手紙を読んでいて、胸が熱くなってきた。我が子への思いが 胸にひびいてきて、何度も何度も、じっくりとていねいに読み直してしまいました。

☆子育てというのは、子どものことで悩み・苦しみ・そして喜ぶ中で、我が子への思いを深く確かなものにしていく作業なのだとつくづく感じさせられた。

# 18、クラスの母親からの感想

## 1、「胸が熱くなりました」

先生と同様、胸が熱くなりました。武田さんの気持ちが、じんじん伝わってきました。そして、もし自分が武田さんの立場だったら、果たしてどんなだろうと考えました。その瞬間、頭がカツ！と熱くなる気がしました。今の私にとっては、想像を絶する悩みとなることは、間違いなさそうです。

武田さん、本当によく頑張ったなあと思います。武田さんの手紙で、子育てに勇気づけられた気がしました。

## 2、「一つの家族が救われたのかも…」

良かった。一人の子どもが救われた、一つの家族が救われたのだと、とてもうれしく思いました。「毎日が私にとって長い時間でした。私は私なりに子どものことを良くたのみました。それが私の毎日の仕事でした」 本当に長かったと思います。そして、子どもにとっても長い長い毎日だったと思います。我が子も、小さな頃から、何の心配もなくすんなり育ったわけではありません、武田さんのお手紙を読んで、最近、子どもに関する本を読まなくなっていることに気付きました。子どもの目がキラキラしているのが、親にとって一番の幸せですね。

# 19、安男の泣いた日①

・9／21にさぼりで休んだということで家に行ってみた。玄関脇の洗濯機を使っていた母親の顔色が変わる。1回は父親がいるので、2階で話をすることにする。

(オドオドしていた)

## 【休んだ理由】

- ①今日は、安男は病気で休んだのではなく、さぼりであること
- ②自分の弟のところに2番目の子(男の子)が勤めており、ゴタゴタが起きたこと
- ③弟のところで嫁・舅のゴタゴタもあり、きのうも弟の家へ行き、帰りがおそかったこと
- ④そのため体調が悪くなり、病院に行ったこと
- ⑤行く前に、お姉ちゃんに安男のことをたのんでから出かけた
- ⑥ところが帰ってきたら、安男がいたのでびっくりして聞いた所、「学校に行きたくなかった」との返事だったこと

## 20、安男の泣いた日②

- ⑦それを聞いてなさけなくなり、「安男がそういう形で休むということは先生にあげた手紙の中身がうそを書いたことになるんだよ。お母さんがうそつきということになるんだよ。それに、中学校に行ったとき、そんなことでいいの!？」と安男に話したこと
- ⑧そばで聞いていたお姉ちゃんが、「もう、そのくらいでいいよ。あまりおこると、またダメになるよ」と言ったが、「1学期ほとんど休まずに行けたんだから行けるはずだし、今ここで言っておかないと、また安男は5年生の時みたいになるんだよ。」と答えたら、お姉ちゃんもわかってくれたこと
- ⑨話をしているうちに、安男がポロポロ泣き出したこと
- ⑩なぜ泣いているのかを聞いたら、「お母さんがかわいそうだから…」と答えたこと
- ⑪「明日から休まないようにするから…。お母さん、ごめんね」と何度もあやまったこと

☆安男に要求するようになった母親の変化がうれしかった

☆「お母さんがかわいそうだから行かなくてはいけないのが学校なのだ」というとらえ方に  
問題があるのでは…

## 21、安男は「怠学」じゃなかった①

・6月末の作文

4年生のころをふりかえると、4年生のころわ勉強がきらいだったし、勉強をちゃんとやらなかったと思います。次は、5年生のことをふりかえると、さいしょは4年生のころとほとんどかわらないけど、5年のさいごの時とかはすこしわ来ていて、そのさいごのときのもくひょうみたいにし、がんばってっていました。すこしは勉強が出来たりして、楽しくなりました。

そして、小学校さいごの6年生になりました。ぼくはいちばんさいしょはどをいう先生かなとか、どをいうきょうしつなのかなとか、どをいう勉強とかさまざまなことを思いました。

今ぼくは、すこしずつ変わって来ているのが自分でもわかります。ぼくは、明日にむかってすこしづつかわっています。友だちや先生にわからないところをおしえてもらったり、先生はけっこうかっこいいし、いろいろ6年になってかわりました。

ぼくは、この1年間にいろいろなことやいいことをおしえてもらいますからよろしくお願いします。

## 22、安男は「怠学」じゃなかった②

### 「6年生になってくるようになったわけ」の作文

前よりもすごくなるようになって、勉強もすこしはよくなったし、4年生・5年生にくらべてだいぶかしこくなったような気がする。お母さんには、

「しょうじょう、よくもらうようになったね。」

とか

「よく行くようになったね。」

と言われるようになった。

ぼくは、いままで社会・算数がきらいだったのに、今の先生の授業をきいているとおもしろくなった。

そんなことが、6年生になってくるようになったわけかもしれません。

## 23、安男が不登校になった理由を分析すると

- ①3歳の時別れた父親と母親は、小学校3年生のときに再び同居をはじめた。  
(籍は、いまだに入れていない)
- ②そのため、母親べったりだった安男の心の中に、母親をとられてしまうのではないかとの不安が生じた。
- ③同居をはじめた父親は、安男と(もちろん他の子達とも)ほとんど話をしない状態であったし、非常に気難しい父親だったので、家庭が安男にとって心休まる場でなくなった。
- ④父親は、建設現場で働いているため、長期の泊まり込みが多い。その父親がいないとき、母親に甘えたいと思って休み始めたのではないだろうか。
- ⑤そうして、3年生の後半から少しずつ休みはじめていくうちに、授業もまったくわからなくなり、4年になって3小に転校したので、友だち関係も全く新しくなった。
- ⑥こうしたことの中で、学校へ行く意欲をなくしていったのではないだろうか。

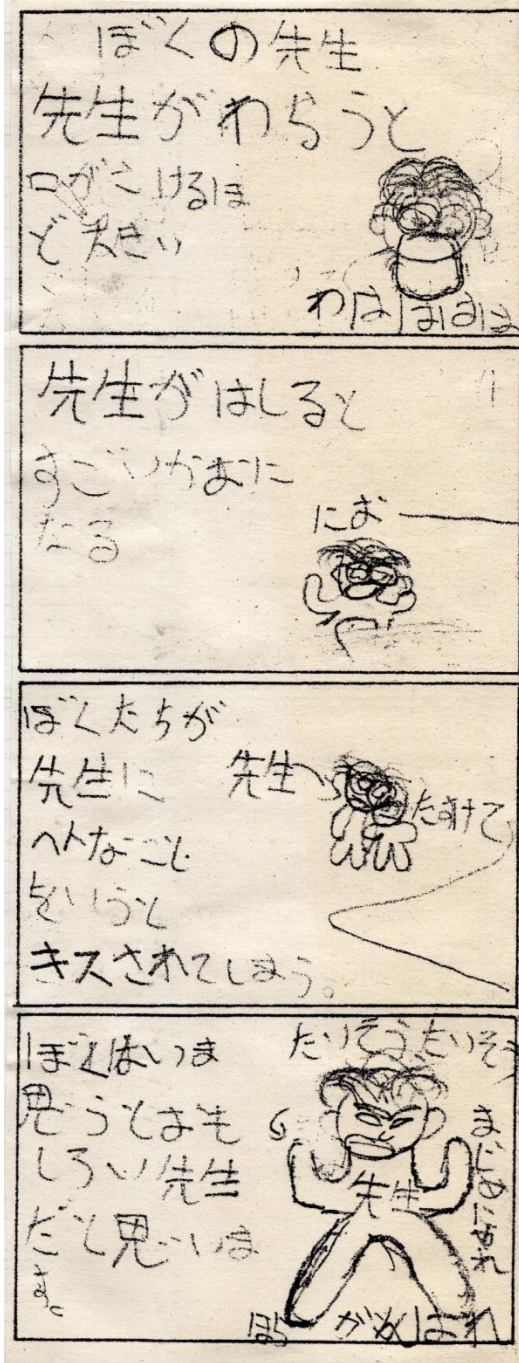
## 24、表面的なとらえ方からの脱却

- ①こう考えてみると、安男は「怠学」でこないのだーという表面的なとらえ方では、安男の思いに共感した実践をつくり出していくことはできない。
- ②子どもの思いに共感するとは、「子どもは子どもなりに生きる重荷を背負い、教師である私と同時代を生きている仲間である」ととらえることではないだろうか。
- ③「子どもの表面的にあらわれる行動」から、深い思いや見えない思いを探りあてていくことが大事なのではないだろうか。

## 25、安男についてのまとめと課題

- ① 一見「怠学」のように見える子どもであっても、その奥底には様々な悩みを抱えて生きている存在であるにとらえる必要があること
- ② たとえ否定的に見える親であっても、子どもに対する親心に寄り添っていくことで、新しいつながりが生まれること
- ③ 「ダメな子」「ダメな親」ととらえるのではなく、子ども心、親心に寄り添った実践をしていけば、必ず変わるだろうことを信じて実践していく必要があること

26、安男の描いた4コママンガ



## 27、4コママンガから見えてくること

☆安男は、私のことを「おもしろい先生」と書いている。

①安男にとって、私は「他の先生とはちょっとちがう先生」に見えたのかもしれない。

②私たちは忙しさの中で、子どもたちの目線で考えることをしなくなっているのではないだろうか。

③子どもと同じ目線で笑ったり、泣いたりしている私のことを安男は感じ取ってくれたのかもしれない。

④子どもの目の高さで泣いたり笑ったりできる存在になることが必要なのではないだろうか。

## 28、母親に二面性について

- なぜ、これほど、兄と弟への対応が違うのだろうか？そのわけは、どこにあるのだろうか？



- ①母親は無意識のうちに、父親への憎しみを双子の兄へ、母親である自分の思いを双子の弟に向けていたのかもしれない。
- ②自分と安男を同化させることで、救いを求めていたのではないだろうか。
- ③だからこそ、母親は自分の分身である安男を自立させずにいたし、手離そうとしなかったのではないだろうか。



☆自分の中にある愛情と憎しみを、心の中で同居させることができないのが人間なのかもしれない。だからこそ、それを双子にふりわけること、心の平衡を保っていたのではないだろうか。

# クラスで次々と起こった出来事

- クラスで起きた大きな出来事のみをピックアップすると…

①教科書ビリビリ事件

②物が次々に紛失！（父子家庭の淋しさをまぎらわすために）

③恋愛ごっこ

（クラスの子にあおられ、ある男子と女子が、上野動物園でポッキーを両側から食べた）

④集団いじめ（一人の子をクラス全員の女子と数人の男子で）

⑤暴力反対決議

# 中間まとめとして

☆子どもたちは、イヤというほどたくさんの問題を起こしてくれた。一時期、子どもがわからなくなり、子どもが嫌いになり、信じられなくなった。教室の中には、たえずさざ波がたっていた。

☆自分作り進行中の子どもたちには、迷いやつまづき、仲間たちとの共鳴と反発などがたえずおそうのではないか。

☆社会や家庭の矛盾が、様々な形で子どもたちにおそいかかっているのではないか。



※だからこそ、「ダメな子だ」と見るのではなく、その子の生活もまるごと包み込んで見てあげることが必要なのではないだろうか。

※否定的に見える子の中にも必ず光るものがあるし、そうせざるを得なかった子どもの思いをとらえてあげることが大切。

※知れば知るほど、子どもだけを責められない気がする。「どこまでも子どもを信じる」というのは、とても重く大変だけど、信じ続けていくしかないのではないだろうか。

# 第4章「不登校に関する実態調査」



# 第一部「不登校に関する実態調査」

～平成18年度不登校生徒に関する追跡調査報告書～



# 平成18年度に中学3年生だった者の追跡調査

## 1、調査対象者

- ・過去に不登校であった者のうち、平成18年度に中学校第3学年に在籍し学校基本調査において不登校として計上された者を対象  
(41,043人)

### (1) 調査対象者が在籍していた中学校に対する基礎的調査

- ・実施期間：平成23年10月～12月      回答数：28,388人

### (2) 中学校在籍当時、中学校卒業後及び現在の状況等

- ・実施期間：平成24年1月～3月      回答数： 1,604人

### (3) 調査対象者本人に対するインタビュー調査

- ・実施期間：平成24年8月～12月      回答数：      379人

# 不登校の理由・受けていた支援等

○ 不登校の主な継続理由は、以下のとおり。

「無気力でなんとなく学校へ行かなかったため(43.6%)」

「身体の調子が悪いと感じたり、ぼんやりとした不安(42.9%)」

「いやがらせやいじめをする生徒の存在や友人との人間関係のため(40.6%)」

「朝起きられないなど、生活リズムが乱れていたため(33.5%)」「勉強についていけなかったため(26.9%)」

「学校に行かないことを悪く思わないため(25.1%)」

○ 中学校3年生の時に受けていた主な支援

・学校にいる相談員(スクールカウンセラー等) 34.0%

・学校の先生 29.5% ・病院・診療所 24.1% ・学校の養護教諭 23.6%

・教育支援センター(適応指導教室) 19.7% ・民間施設(フリースクールなど) 8.8%

※何も利用しなかった 22.5%

# 不登校の傾向分析

- 不登校の継続理由から「無気力型」「遊び・非行型」「人間関係型」「複合型」「その他型」の5つに類型化することができる。
- 不登校時期の分析により、一旦欠席状態が長期化するとその回復が困難である傾向が示されている。
- 学校を休み始めた時期と長期化した時期との間にタイムラグが生じていることから、一定の「潜在期間」を経て不登校になることが推測される。
- 不登校のきっかけと不登校の継続理由、中学校3年時にほしかった支援と現在必要とする支援との間の関連性は、非常に強い。

# 調査時現在までの進路

- 20歳現在の就学・就業状況
  - ・就業のみ 34.5%    ・就学のみ 27.8%
  - ・就学・就業 19.6%    ・非就学・非就業 18.1%
- 中学校卒業後の高校進学状況
  - ・高校進学率 85.1%    ・高校中退率 14.0%
- 20歳現在の就学先
  - ・大学・短大・高専 22.8%    ・高等学校 9.0%
  - ・専門学校・各種学校等 14.9%
- 20歳現在の就業状況
  - ・正社員 9.3%    ・パート、アルバイト 32.2%
  - ・家業手伝い、会社経営 3.4%

# 調査結果の分析 1

- 学校にいる相談員などを利用した割合が高いほか教育支援センターや民間施設の利用も増えており、スクールカウンセラーの配置（平成7年に国の支援開始）等を通じ、不登校生徒に対する支援体制が整ってきていることが伺える。
- 傾向分析によって不登校状況の類型化、不登校になると回復が難しい傾向、「潜在期間」の存在などを読み取ることができ、今後の不登校施策にも反映しうる。

## 調査結果の分析 2

- 前回の調査と比較して、不登校経験者の高校進学率が大幅に増加（65.3%→85.1%）
- 高校中退率も大幅に下がった  
（37.9%→14.0%）
- 不登校経験に関わらず、勉強が続けられるようになっている状況を見ることができる。
- 大学、短大、高専への就学している割合も大幅に向上  
（16.5%→22.8%）
- 就学も就業もしていない割合は減少  
（22.8%→18.1%）

# 調査結果の分析 3

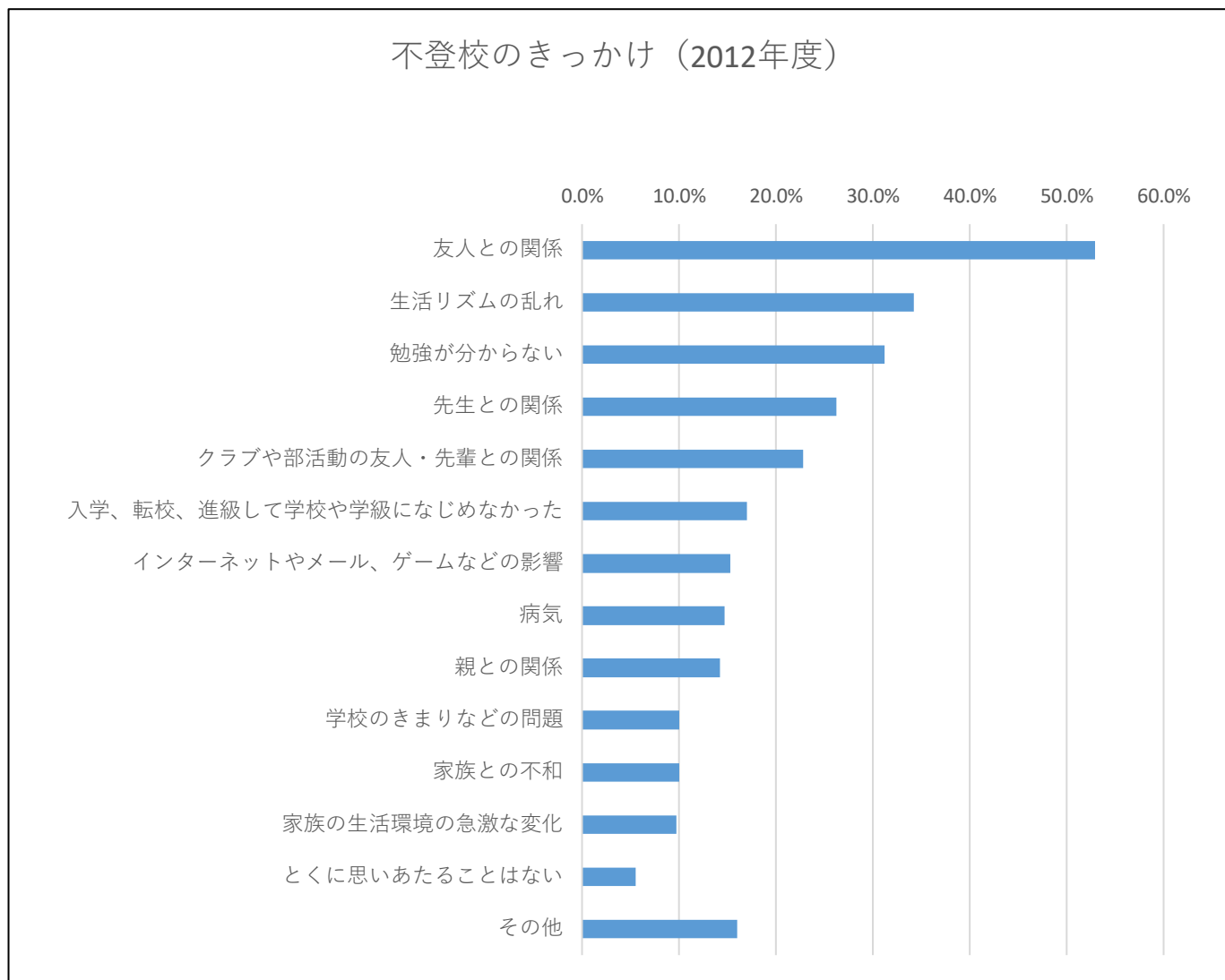
## 【インタビュー調査】

- ・不登校によって勉強、友人、進路等でのマイナスがあったという意見があった。
- ・その反面、
  - ☆「休んだことで今の自分がある」
  - ☆「成長した・視野が広がった」
  - ☆「出会いがあった」
  - ☆「人とは違う経験をした」
  - ☆「人に優しくなった」などの記述
- ・不登校の経験を振り返りながら前向きに進んでいる様子も見えた。

## 中3で不登校だった子が18歳前後で回答した不登校のきっかけ(2012年)

| きっかけについて                | 割合    |
|-------------------------|-------|
| 友人との関係                  | 52.9% |
| 生活リズムの乱れ                | 34.2% |
| 勉強が分からない                | 31.2% |
| 先生との関係                  | 26.2% |
| クラブや部活動の友人・先輩との関係       | 22.8% |
| 入学、転校、進級して学校や学級になじめなかった | 17.0% |
| インターネットやメール、ゲームなどの影響    | 15.3% |
| 病気                      | 14.7% |
| 親との関係                   | 14.2% |
| 学校のきまりなどの問題             | 10.0% |
| 家族との不和                  | 10.0% |
| 家族の生活環境の急激な変化           | 9.7%  |
| とくに思いあたることはない           | 5.5%  |
| その他                     | 16.0% |

## 中3で不登校だった子が18歳前後で回答した不登校のきっかけ(2012年)



# きっかけについてどう考えるか？

1、友人関係が不登校のきっかけとの回答が突出している。

※いじめ、からかわれた経験を含む

※先生、クラブの先輩などとの関係

2、学校という空間での人間関係が不登校の最大の原因

3、「勉強が分からない」のも3割を超える

4、病気や家庭環境という理由が1割強。

5、「学校のきまり」という理由が1割強。

6、学校の在り方が問われている。

# 第二部「不登校に関する実態調査」

～令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の  
諸課題に関する調査結果について～



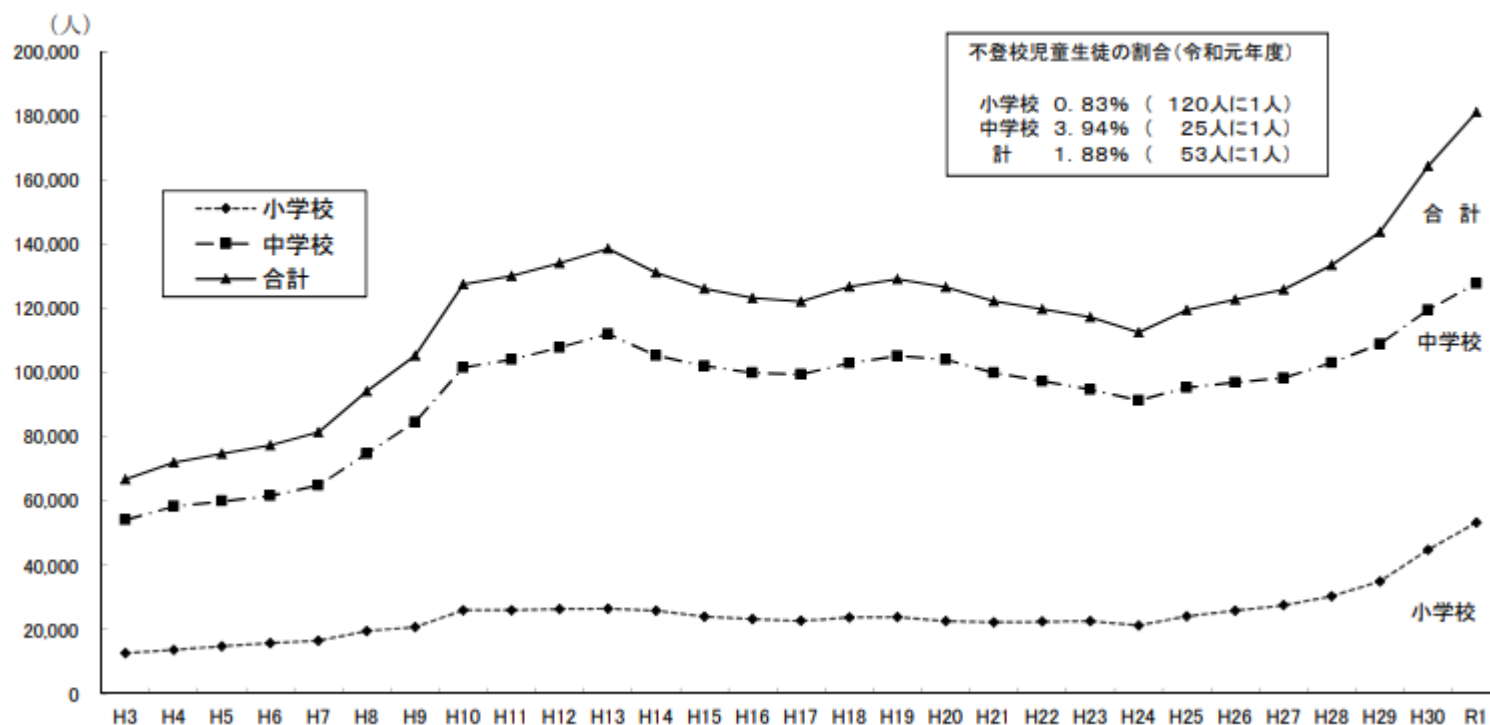
# 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の 諸課題に関する調査結果について

【2020年10月22日発表】(2019年度の結果)

- 1、小学校 1991年度 12,645人  
中学校 1991年度 54,172人
- 2、不登校の数(病気、経済的理由でないもの)
  - ☆小学生→53,350人(0.83%で0.13%増加)
    - ・前年度より8,509人増加
    - ・120人に1人の割合
  - ☆中学生→127,922人(2.3%で0.12%増加)
    - ・前年度より、8,235人増加
    - ・25人に1人の割合

# 不登校児童生徒の推移

<参考1> 不登校児童生徒数の推移



# なぜ、急激に増えたのか？

1、平成18年度の中学生の追跡調査によると

①不登校生を対象にした高校の整備

②「受け皿」の多様化

→これが改善の理由？

2、それなら、どうして増加するのか？

3、大きな原因は、学校の競争化の圧力

4、サブカルチャーや周辺の価値などまでが競争の道具になっている。(AKB48)

5、「可愛さ」「ファッション性」までが競争化

6、価値観の多様化など進んでいない。むしろ、統一化してるのではないか。

7、教師が子どもの苦しみに共有・共感する暇がない。

## 第5章 生徒の悩みや苦しみに共感する (長いスタンスでの子育てを)



# 1ー①青年期の自分探しに付き合う

「悪い先生は、人を点数で評価する」 大学3年生

私が悪い先生と思うのは、小学校6年生のときの担任である。この人は点数や成績の評価を重視する先生で、テストの点数が悪いと説教し時にはそれが放課後まで続くことがあった。授業の仕方もちろ受け身型であまりに楽しくなかったせいで、何をしたか全然記憶にない。

また、この先生は児童に対しての接し方に差があった。お気に入りの児童はとことん褒め、私のようなそうでない児童にはあまり褒めることがなく個人的な会話も少なかった。この時も小学4年、5年生で行った日記の延長線で毎日ノートに作文を書いたが、そこにも評価がついていた。一番いい評価をもらえると学級通信に載るのだが、だいたい載るのは先生のお気に入りの児童だった。私はどうにかそこに載りたくて、最初は楽しく書いていた作文もいつしか評価ばかりを気にするようになり、だんだん中身のないものになってしまった。

# 1－②青年期の自分探しに付き合う

その他にも、理不尽に怒られることが多かったので、6年生の時の良い思い出が一つも浮かんで来ずよく叱られたことしか思い出せない。自分は全く覚えていないのだが、よく母に「また叱られた。もう学校行きたくない。」とぼやいていたようだ。そのぐらい辛かったのである。

この3年間の間で私は教師というものがどれだけ児童に影響力を及ぼすかを知った。やり方ひとつで児童の学習意欲は増したり、評価のみを欲しがったりする。先に述べたように、成績や評価ばかりを気にするやり方は学びに良くない影響を与える。

知識を高め、自分自身を成長させることが学校教育であり、そのために教師はよい学習環境を整えてあげるべきだと思う。

## 2ー① スクールカーストの記述

「顔ランクで決まる立ち位置」

K子(女)

私は、「スクールカースト」という言葉は「学級」階層の意味だけだと思っていました。しかし、部活内など、様々なところでの階層を表すものだと知り、知識不足だなと思いました。そのことを知り、過去にあった部活内での出来事はスクールカーストなのかと気づきました。

中学時代にバレー部に入った私は、上手になりたいという気持ちで練習を頑張ってきていましたが、なぜか途中から練習をさせてもらえなくなりました。部活の顧問の先生が練習をしても良い子、ダメな子を選んだからです。なぜダメなのか聞いたところ「かわいい子とブサイクで分けているから」と言われ、ショックを受けた記憶があります。先生に対してその判断方法は納得いかないと反対しても無駄であり、練習に参加できなかった私たちはずっと練習をしている人の様子を見るだけでした。

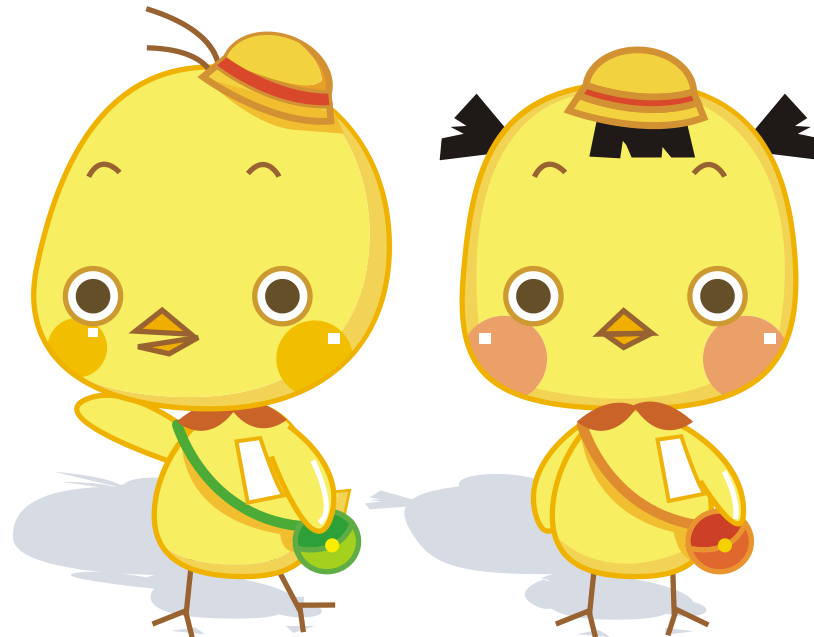
私と同じ目に遭った部活の子が先生にアタックして、練習に参加できるようになったことがキッカケになり、そこから上手くなるために練習していたはずの部活が、先生に対してアタックをする部活に変わってしまいました。もはや、バレー部ではなく、アタック部という名前がふさわしい部活になってしまいました。

## 2ー② スクールカーストの記述

「先生にアタックしなければ、先生に良い印象を持ってもらえなくて、練習できない！」と思い、私も頑張ってアタックしていました。アタックとは、先生の肩をもんだりお菓子をあげたり、日誌で先生のことを褒めまくったり、部活の後に先生と買い物に行く、質問には全て答える（曖昧な返事はダメ）などでした。そういうことを続けた約半年後に練習に参加することが出来ました。先生からは練習許可をもらえたと思って練習できたのは束の間のことでした。練習しているメンバーの中でも顔ランクというものがあり、顔ランクの一番下の人はプリクラ代をすべて払う、情報を周りのひとに聞きに行くなど、まだまだ試練は残っていました。今まで、こういうことを「いじめ」と呼ぶのかなと思っていました。

顔のランク、アタック度のランキングのことをスクールカーストと呼ぶと今回初めて知りました。他の先生に言っても、「腕の良さでの順位ではないのか？」と言われました。なかなか、スクールカーストを認めてくれない先生もいます。それに、自分の順位が上がるように頑張っていた自分も嫌になりました。本来の部活の意味も失い、一人ひとりが自分の順位をあげることに必死になっている姿を見るのも嫌でした。本来は、一人ひとり得意、苦手、好き、嫌いというものがあるわけですから、個性を尊重し合うべきだと思っています。

## 第6章 不登校・引きこもりへの 私たちのスタンス



# NHKスペシャル「こもりびと」より



息子の雅夫の思いを知りたくて、SNSで偽名でやりとりをしていた父親の一夫。それがばれて、「自殺」をほのめかす。それを止めようと、追いかける。



電車に飛び込もうとする雅夫をうしろから抱きしめ、一夫は叫ぶ。

「今まで、お前のことをわかっていなくて悪かった。生きてくれさえすればいい」と…。

# ブルーハーツ「チェインギャング」



# 「チェインギャング」の歌詞

僕の話聞いてくれ／笑い飛ばしてもいいから／ブルースにとりつかれたら／チェインギャングは歌いだす／**仮面をつけて生きるのは／息苦しくてしょうがない／どこでもいつも誰とでも／笑顔でなんかいられない**

人をだましたりするのは／とってもいけないことです／モノを盗んだりするのは／とってもいけないことです／それでも僕はだましたり／モノを盗んだりしてきた／世界が歪んでいるのは／僕のしわざかもしれない

過ぎていく時間の中で／ピーターパンにもなれずに／一人ぼっちがこわいから／ハンパに成長してきた／なんだかとても苦しいよ／一人ぼっちでかまわない／キリストを殺したものは／そんな僕の罪のせいだ

生きているってことは／カッコ悪いかもしれない／死んでしまうという事は／とってもみじめなものだろう／だから親愛なる人よ／そのあいだにほんの少し／人を愛するってことを／しっかりとつかまえるんだ

だから親愛なる人よ／そのあいだにほんの少し／人を愛するってことをしっかりとつかまえるんだ

一人ぼっちがこわいから／ハンパに成長してきた／一人ぼっちがこわいから／ハンパに成長してきた

# 不登校の子どもたちのこえ

## 《担任した児童からの聞き取り》

- 1、「学校が怪物に見える」
- 2、「学校の正門に来ると、襲いかかってくるように感じる」
- 3、友達関係がうまくいかないから
- 4、いじめにあって
- 5、なんとなく

**※学校が、現代の子どもにますます  
フィットしなくなっているのではない  
か？**

# 1、「興味開発型」の学びが今こそ必要

- ・さいころを使って「いつ・だれが・何をした」を表現してみよう
- ・青・赤・黄の3色のさいころを用意し、青が「いつ」、赤が「だれが」、黄が「なにをした」にして絵と言葉を考えあう。
- ・何が出るかわからないからおもしろい文章になる。
- ・さいころの目は、身近な事柄にすることでイメージできる。
- ・みんなでやるのが楽しい。



左のさいころの場合は、  
「プールのとき」「だるま  
さんが」「おならした」と  
いう文章が出来上がり、子  
どもたちが大喜び

## 2、文構造を学ぶことが、感情のコントロールにつながる

- (1) 小学校2年生(8歳)のA男児
- (2) 読み書きに困難があり、親は「学習障害」ではないかと心配。
- (3) 衝動的・感情的で、暴力もふるう。
- (4) さいころを使った文構造の学習を行う。
- (5) 途中から、さいころを子どもが作るようになった。
- (6) 「展開図」から考えさせ、立方体作りに挑戦。
- (7) 大きな変化がおきる。
  - ① コグトレに取り組むようになる。
  - ② 文に親しみ、感情コントロールが可能になる。
  - ③ フリースクール・通級に通えるようになる。
- (8) 子どもは基本的に学ぶことが大好きなはず！

### 3、文構造を学ぶことでの、内面の変化を考える

- 1、コロナ渦で、4～5月の学習が抜けたため、学びへの意欲が減退した子どもたちが多い。
- 2、「ひらがな指導」は、たったの1ヶ月半。しかも、読み書きが出来て当たり前という教科書。
- 3、1年生の文字指導が、「ひらがな学習」から始まるため、文章の構造が理解できない子がいる。
- 4、文章を書いたり人前で話すには、ある程度の日本語の形式にのっとらなくてはならない。
- 5、A男児は、そこが分からなかったもので、人に思いを伝える手段を獲得できなかったもので、荒れた。
- 6、しかも、支援が必要な子、学習を理解するのに時間がかかる子は、なおさら荒れる！

## 4、ありのままで良い。

でも、社会で必要とされたい！

- ①感覚過敏・支援が必要な子の場合への、適切な援助が必要。
- ②「納得できない」という子どもの声に真摯に向き合う。
- ③子どもを変えようとばかりするのではなく、まわりの大人が変わっていくべき！
- ④子どものネガティブ感情を受け止める。
- ⑤読み・書き・計算などの基礎的学力を身につける援助が必要。(進路保障のために)
- ⑥すべての子どもの成長をサポートする学び場  
Alternative school(オルタナティブスクール)など  
が必要。(焼津市「しいの木」)

# 第7章 学校のあり方を考える



# 1、「スタンダード」について

＜小学校で見られるスタンダードの例＞

## 【学習について】

使うノートや、行頭から文字を何マス下げるかなどを、学年ごとに規定。  
それをすべての生徒で統一するように、教員にも指導する

## 【生活について】

- ・登校から下校まで、学校において目指すべきふるまいを、文字やイラストで明示
- ・授業中の机の上に置く物の、置き方を統一する

## 【持ち物について】

- ・筆箱に入れる鉛筆の種類、本数、その他文房具の種類を、例えば「赤鉛筆1本、青鉛筆1本定規は透明なもの1つ」などと決める
- ・道具箱に入れるものについても同様に規定

## 2、「スタンダード」が群れる力をそぐ

(1) 自分から進んで「おはようございます」「さようなら」を言います。

(2) 頼まれた仕事が終わったら報告「…終わりました」

(3) 校内で会った人やお客様にも進んで挨拶します。

(4) サイレント通りを通るときや、声をかけられないときは会釈をします。等々

(「サイレント通り」とは、校長室、職員室の前の廊下のことで、そこでは一言もしゃべってはいけない。)

- ・守れなかった場合は、副校長先生に呼ばれて叱られる。

- ・最も驚いたのは、「自主勉ノート誓約書」の次のような文面。

「私〇〇は、4年生になっても自主勉ノートを毎日コツコツ提出することをここに約束します。もしこの約束を破るようなことがあったなら、どのような形でも罰を受け入れる覚悟です。この誓約は、今の担任の〇〇先生が証人となります」

こうした学校は、寄り道さえ許さない。子どもたちの「群れる力」を育てることを大事にしていかなければ、これから先の社会の安全性は担保されないであろう。

### 3、「スタンダード」は、いじめを助長する①

- 1、人間は、種を残すために社会的集団を作ってきた。
- 2、集団にとっての一番脅威になるのは、フリーライダー（ただ乗り）である。
- 3、このただ乗りをする人を見抜く機能を、「裏切り者検出モジュール」
- 4、これに対して行われる制裁行動  
...「サンクション」
- 5、人間はみんなと違う対象に制裁感情が発動する。（「向社会性」が高いほど発動）

### 3、「スタンダード」は、いじめを助長する②

#### 1、「脳内ホルモン」の「オキシトシン」

- 愛情や親近感を感じさせるホルモンとして「オキシトシン」(愛情ホルモン)がある。
- 愛する人や仲間と一緒にいることで、大きな幸福感を感じると「オキシトシン」が分泌
- 共同社会作りに欠かせない存在
- 「強すぎると、「嫉み」「排外感情」を高める。

#### 2、「規範意識が高い集団」ほど、いじめが起きやすい。

#### 3、集団は、理性を鈍化する。

(匿名性は、攻撃性を高める)

### 3、「スタンダード」は、いじめを助長する③

#### 1、安心ホルモンの「セロトニン」

- ・多く分泌されると、リラックスしたり、満ち足りた気分になる。
- ・量が減ると、前頭前野の働きが悪くなるため、情動を押さえられなくなる。
- ・共感、計画性、意欲などの、適切な社会行動をとるための能力が低下する。
- ・「セロトニン」の低下は、うつ病につながりやすい。

#### 2、リサイクルするための「セロトニントランスポーター」がある。

#### 3、「セロトニントランスポーター」を多く作ろうとするL型遺伝子と少なく作ろうとするS型遺伝子がある。

#### 4、世界29カ国中、日本が一番S型が多い。

- ・S型遺伝子の割合が80%で、80%を超えたのは日本だけ
- ・アメリカの場合は、S型は43%、残りはL型だった。

※排除傾向が日本人は強いが、歴史的に作られたもの

# 4、ある中学校の生徒指導

| 段階       |    | 問題行動            | 反省文      | 保護者対応 |    | 外部 | 指導内容                                   | 翌日からの対応           |
|----------|----|-----------------|----------|-------|----|----|----------------------------------------|-------------------|
|          |    |                 |          | 連絡    | 来校 | 警察 |                                        |                   |
| A        | 1  | 朝の遅刻            | ○        | △     | ○  |    | 嚴重注意。                                  | 度重なる場合には、家庭連絡をする。 |
|          | 2  | 不要物の持ち込み        | ○        | △     | ○  |    | 預かる。                                   |                   |
|          | 3  | 化粧・異装           | ○        | △     | ○  |    | 直させる。                                  |                   |
|          | 4  | 頭髮<br>(変形・染髪)   | ○        | ◎     | ○  |    | 直して登校                                  | 家庭連絡する。           |
|          | 5  | 自転車             | ◎        | ◎     | ○  |    | 預かる                                    |                   |
| B        | 6  | エスケープ           | ◎        | ◎     | ○  |    | 職員室へすぐに連絡し、複数で対応（ダメなものとは毅然とした姿勢で指導する。） | 別室学習              |
|          | 7  | 授業妨害            | ◎        | ◎     | ○  |    |                                        |                   |
|          | 8  | 指導に従わない         | ◎        | ◎     | ○  |    |                                        |                   |
| C        | 9  | 喫煙（校内）          | ◎        | ◎     | ◎  | ○  |                                        |                   |
|          | 10 | 故意による器物破損及び危険行為 | ◎<br>破損届 | ◎     | ◎  | ○  |                                        | 一方的な暴力は別室学習       |
|          | 11 | 生徒間暴力           | ◎        | ◎     | ◎  | ○  |                                        |                   |
|          | 12 | 対教師暴力           | ◎        | ◎     | ◎  | ○  |                                        |                   |
| 地域への迷惑行動 |    |                 | ○        | △     | ○  | △  | 複数で対応                                  | 家庭連絡              |

# 5、自主勉ノート誓約書

自主学習Check 3月

| 月       | 火   | 水   | 木      | 金      |
|---------|-----|-----|--------|--------|
| 2日      | 3日  | 4日  | 5日     | 6日     |
| 9日      | 10日 | 11日 | 12日    | 13日卒業式 |
| 16日     | 17日 | 18日 | 19日    | 20日    |
| 23日保護大行 | 24日 | 25日 | 26日修了式 |        |

自主学習の反省 3月25日（水）の夜にやること。  
自主学習に取り組んでみての反省や良かったことを振り返りましょう!!

・提出度部門

・ノートの使いかた部門

・自主学習の内容の進捗部門

自主勉も始めて何か変わった?

・総合評価

## 自主勉ノート誓約書

私は2学年になっても自主勉ノートを毎日コツコツ提出することをここに約束します。もしこの約束を破るようなことがあったなら、どのような形でも罰を受け入れる覚悟でございます。

この誓約は今の担任の先生が証人となります。

月 日 曜日

自分のサイン

「私〇〇は、4年生になっても自主勉ノートを毎日コツコツ提出することをここに約束します。もしこの約束を破るようなことがあったなら、どのような形でも罰を受け入れる覚悟です。この誓約は、今の担任の〇〇先生が証人となります」

## 6、ダークペダゴジーへの親和性

- ①「ダークペダゴジー」は、他者の行動や人格をコントロールする必要性と、外部からのまなざしの届かない密室的環境の両方のあるところでは、常に用いられる可能性がある。
- ②虐待研究の大家であるJ・ハーマンが指摘するとおり、こうした手法は誰に教わるでもなく繰り返し発明され、学校だけでなく家庭の児童虐待や家庭内暴力の文脈で使用されてきた。ダークペダゴジーは監獄、捕虜収容所、入院病棟、あるいは企業などでも同様に行動統制や人格改造のために使用されている。
- ③学校には「ダークペダゴジー」を引き寄せる学校文化がある。なぜなら、教員の望まない態度をとったり、秩序を乱す行為をする児童・生徒がいるからである。
- ④学校の教職員集団は、教育の前提となる秩序管理技術として、「ダークペダゴジー」に対する潜在的な需要が常に存在する。
- ⑤学校において、特に「ダークペダゴジー」が用いられやすいのは、小学校の「学級」と中学高校の「部活動」である。

# 柔らかな学級作りを目指そう

- 1、「友だち百人できるかな？」を目指させない。
- 2、「スタンダード」に依拠しない学級作りを
- 3、子どもの凝集性をほどほどにする。
- 4、子どもへの言葉の二重性に気づく
  - ・表側のメッセージと裏側の隠れたメッセージ  
(ヒドウンメッセージに気をつける)
- 5、荒れている子どもたちの内面の声を聴く。
- 6、学校を、子どもにフィットする物にしていく。
- 7、子どもの「自己決定権」を尊重する。
- 8、学級を作るのは、子どもの力を抜きには考えられない。

## 第8章 子どもの声を聴く



こんな子どもの声を、どう考えますか？

## 男の子が求めるお嫁さん像

お嫁さん

寺園 晃一郎（4年）

ぼくは、やさしいお嫁さんをもらいます。  
友達とお酒を飲みに行った時  
こわいお嫁さんは  
今まで何やってたの。  
早く風呂に入って寝なさい。」  
と言うけど、  
やさしいお嫁さんなら  
早く寝なさい。」  
だけですむからです。  
あと、給料が少なかったら  
こわいお嫁さんは  
給料が少ないから、おこづかいへらす。」  
と言うけど  
やさしいお嫁さんなら  
あら、少なかったのね。」  
だけですむからです。  
あと、うるさいお嫁さんと  
文句を言うお嫁さんも欲しくありません。  
うるさいのと文句を言う女は  
お母さんだけで十分です。

## お母さんの立ち話

4年女子

うちのお母さんが  
たまにスーパーで知っている人に会うと、  
すごく長い立ち話をする。  
早くやめてよ!」  
と言うと

もう少し……」  
と言ってくるけど  
二十分ぐらい  
ずっと話をしている。  
長くてつかれてくるので、  
立ち話をやめてほしい。



早くと言われたくない

4年女子

いつも私が

学校から帰ってきて

私が休もうとするとお父さんが、

早く宿題やりなさい!」

と言ってくる。

私がお風呂から出ると、

のんびりしてないで

早くねなさい!」

と言ってくる。

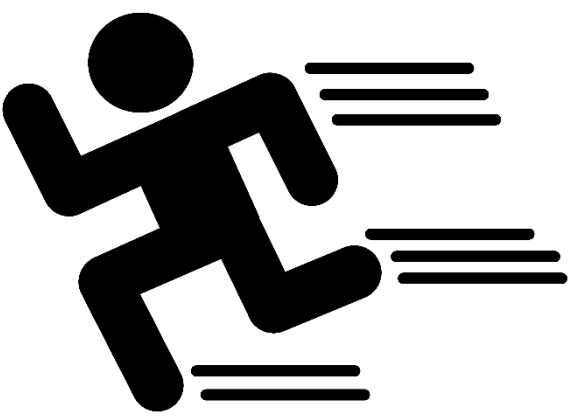
それがお父さんとお母さんの

口ぐせだ。

早くごはんをたべなさい。」

早くお風呂に入りなさい。」

というくせを直してほしい。



すぐにおこるな！

4年男子

うちのお母さんは、  
すぐにおこる。  
オレが悪いから  
たしかにおこられる。  
きのうもおこられた。  
**でも三十分もおこらでほしい。**

怒る？

4年母

すぐになんか  
怒ってないよ。  
はじめは優しく  
話しかけているのよ。  
それなのに  
何度呼んでも返事がない。  
あなたが気がついた時には、  
もうお母さんがあきれている。



私だけ…

4年女子

私がお皿をわると  
すぐおこられる。

だけとお父さんはお母さんが  
お皿をわっても

だれもおこらない。

だから私はいつも

なぜ私だけおこるの？

同じ人間なのに…。」

と思ってしまう。

同じ人間がわったんだから、  
もしお父さんがわっても

お母さんがおこってほしい。

お母さんがわったら

お父さんがおこってほしい。

私だけおこるのは、

やめてください！



早く・早く

4年男子

うちのお母さんは、

毎日

早く・早く」と言ってます。

学校から帰ってくると、

早く宿題やりなさい！」

早くお風呂に入りなさい！」

早く夕ご飯を食べなさい！」

早く寝なさい！」

と言ってます。

朝になると、

早く起きなさい！」

早く顔を洗いなさい！」

早く学校に行きなさい！」

だからぼくは、

一生懸命早くします。

それでも「早くしなさい」と言われます。

お母さんの「早く」は、

どれくらい早ければいいんだろう！



# 親子討論会の様子

—NHK「にんげんどキュメント」より—



# お姉ちゃんのこと

4年父

お姉ちゃんに  
生意気なことを言うのは  
やめなさい。  
お姉ちゃんは  
裕梨のめんどうを  
しっかりと見ているよ。  
お父さんやお母さんよりも  
長く一緒に人生を送るのだから…。  
お父さんのお願いだ。



# お父さんの病気

裕梨（4年）

私のお父さんは、  
私が生まれた時から入院していました。  
でもなおりませんでした。

2年生のある日

お父さんと同じしんぞうの病気の人が、  
テレビで手術しているのを

お父さんはいっしょうけんめい見ていました。  
少ししてお父さんは

その同じ手術をしました。

でもまだなおったわけではありません。

お父さんの病気は、なおらない病気なのです。  
病院の先生もどうやってなつたのか

どうやったらなおるのか知りません。

もし私の願いを1回かなえてくれるなら、

『お父さんの病気を

なおしてください！』

とお願いしたいです。

お父さんの病気が

なおらないとわかってても、

いつかは願いがかなうといいと  
思っています。



ママのおなら

鈴木 優花（3年）

ゆか、ゆか、ここ見てー。」

とお母さんが言った。

だから近くに行ったら、

ママがオナラをした。

そしてママは自分のオナラを

ジャスミンのかおり。」と言った。

それに、オナラは愛情だよ。」と言った。

先生、本当にオナラは愛情なの？

おじいちゃんのおなら パート2

鈴木 優花（3年）

ゆかとおじいちゃんと

おばあちゃんとともやで

しゃくじい公園に行った。

ゆかはおじいちゃんと手をつないだ。

そしたらおじいちゃんは、

私の手を自分のおしりにつけた。

どうするのかな？」と思っていたら、

ゆかの手にオナラをした。

それって愛情なのかな？

増田先生、どう思う？

### 【エピソード】

「増田先生、確かに私はよくおならをしますし、『ジャスミンのかおり』などと言います。でも実は私も自分の父（おじいちゃん）によくおならをかけられていました。そのたびに私も『おならは愛情だよ』と言われてきました。この“おならをかける”という行為は、おじいちゃん・私・優花と連綿とつながる我が家のしきたりみたいなものなのです。だから、優花もきつとこのしきたりを受け継いでくれるものと思っています」

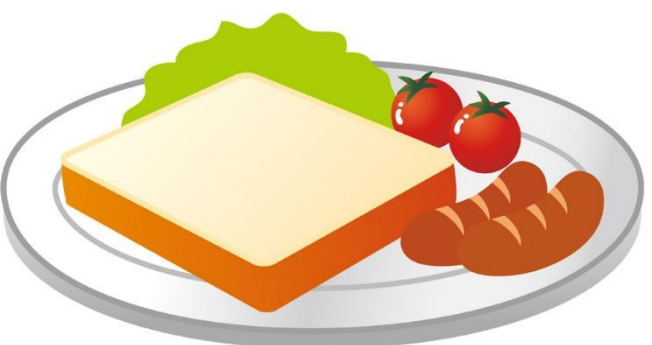
おじいちゃん

野口 翔平（6年）

ぼくのおじいちゃんは農家で、  
魚沼産コシヒカリを作っている。  
いつも

来しか食べない！」  
と言っているが、

パンもうまそうに食べている。  
意地をはっているだけなのかな？



## 第9章 非認知能力を育てることがポイント

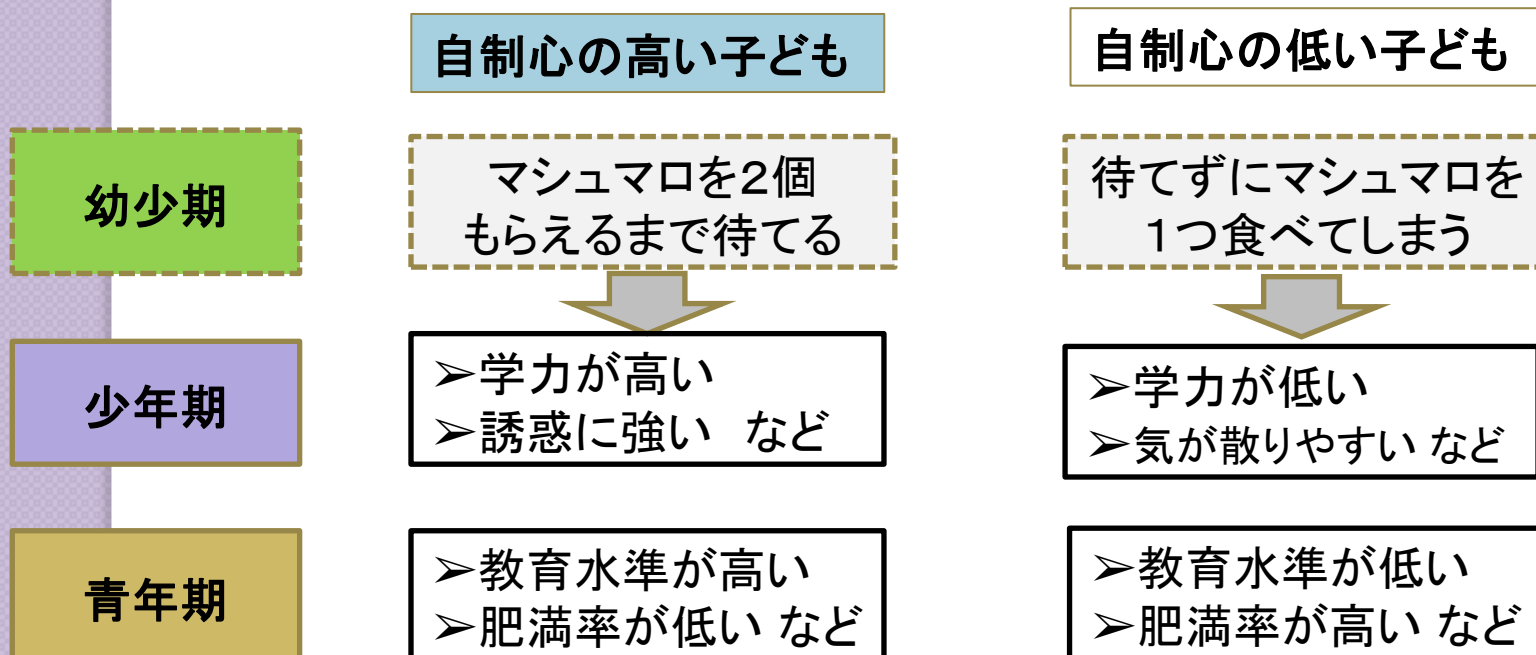


- ・参考資料【日本財団】  
「家庭の経済格差と子どもの認知・非認知能力格差の関係分析」

# 「非認知能力」を育てることの重要性

- 「認知能力」とはIQや学業達成など、学力テスト等で測定可能な能力。「非認知能力」とは。自制心、勤勉性、外交性、協調性などその他の要素。
- 海外研究を中心に、多くの研究によって「非認知能力」の重要性が指摘されるようになった。(人間の一生を決める！)

## 非認知能力の差の例(マシュマロ・テスト)



日本財団のビッグデータから

# 貧困状態の子どもの学力は10歳を境に急激に低下する

貧困状態にあると、学力は低くなる傾向があり、  
特に小学校4年生（10歳）以降で学力が大きく低下する。

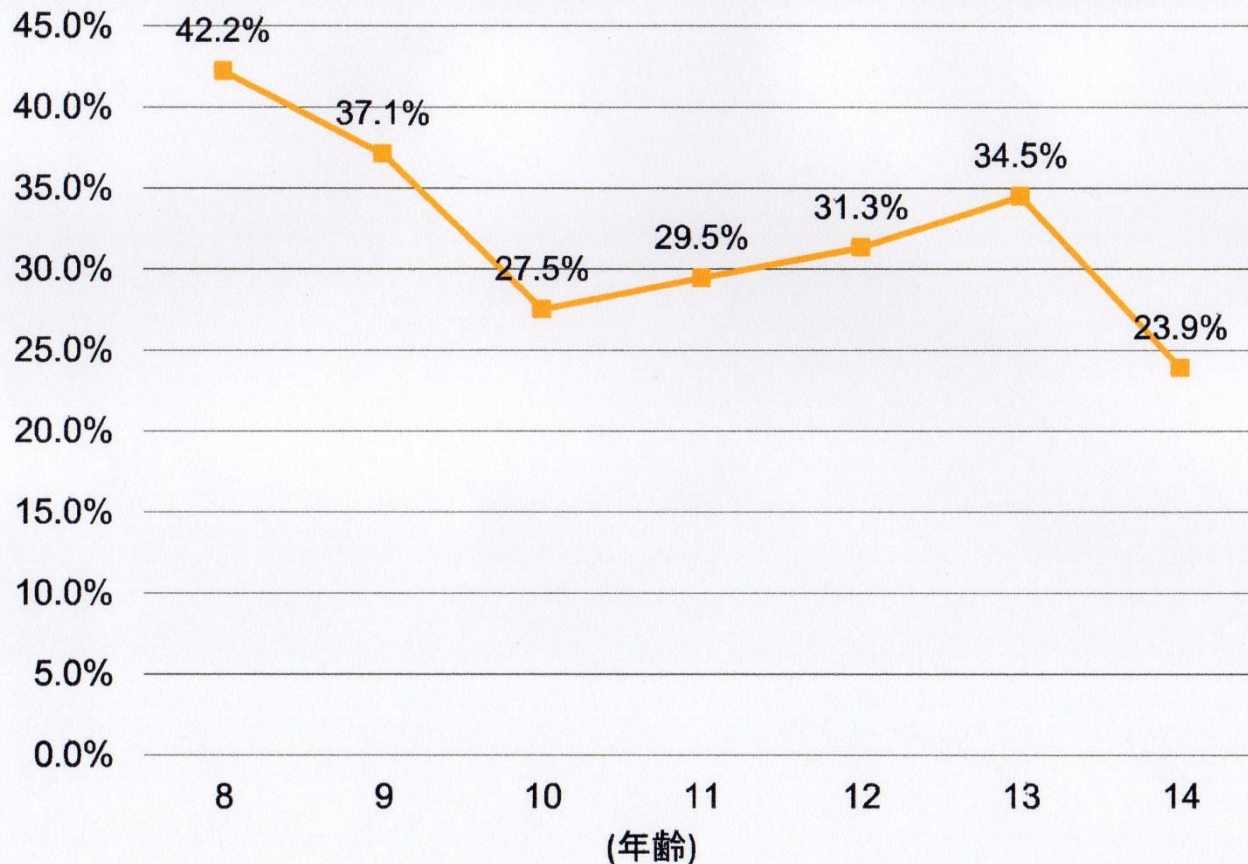
生活保護世帯と経済的に困窮していない世帯の偏差値の推移（国語）



# 低学力のまま年齢が上がると、学力を高めることが難しくなる

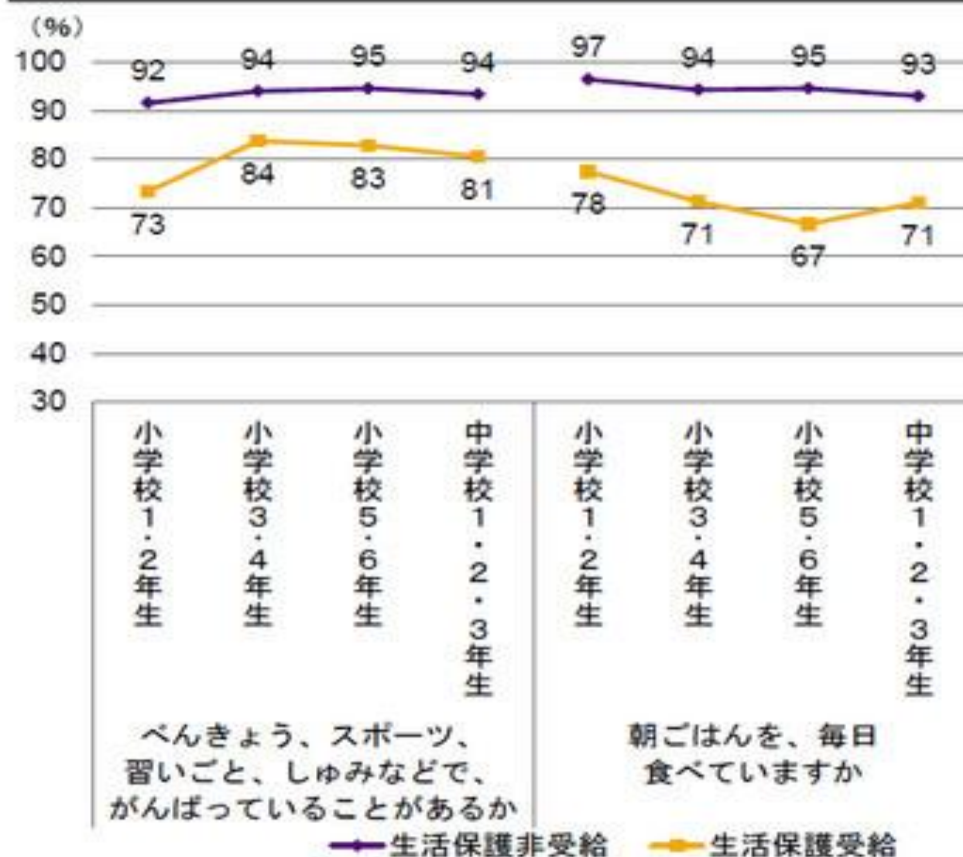
- ・低学年時は、前年の偏差値が45以下であっても、翌年には3～4割が偏差値45超まで上昇する。
- ・年齢が上昇するにつれ、「逆転」の可能性は低下していき、低学力kが固定化しています。

偏差値45以下の子どもが翌年に偏差値45超になる割合

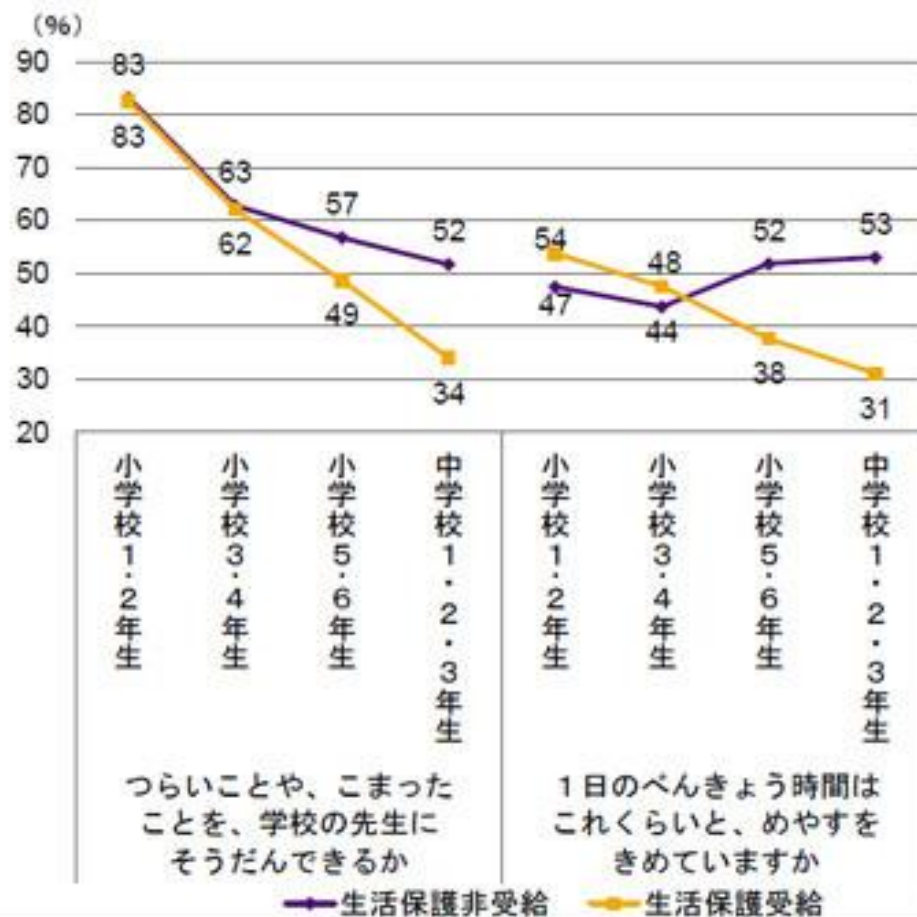


# 基本的な非認知能力は、 低学年時点から差が大きい1

経済状況別の生活習慣・非認知能力



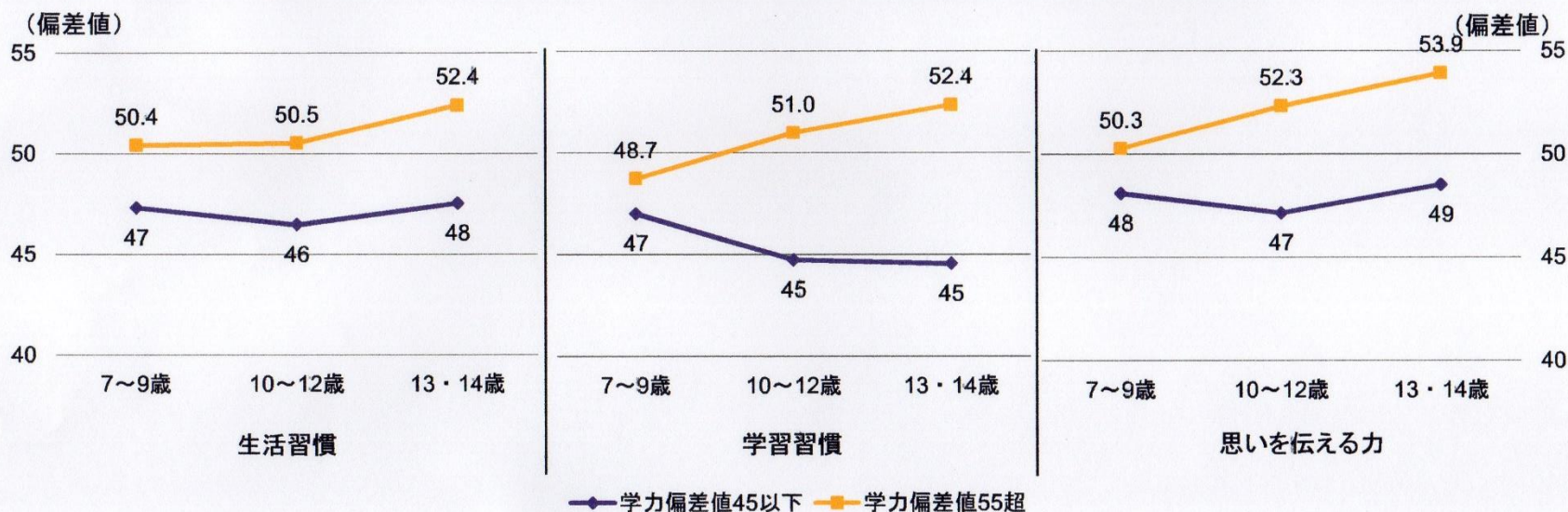
# 基本的な非認知能力は、 低学年時点から差が大きい2



# 貧困下でも学力の高い子どもは、非認知能力が高い

- ・貧困世帯のうち、学力が高い子どもと、学力が低い子どもを比較すると、学力の高い子どもは、生活習慣や学習習慣、思いを伝える力などが高水準にある。
- ・中でも生活習慣は、低学年時から両グループの差が大きい。

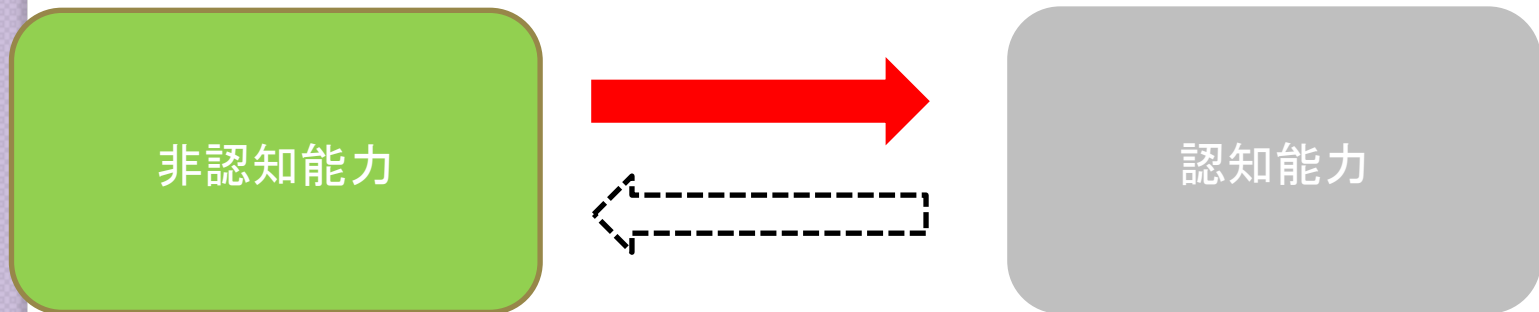
貧困世帯における学力の高い子どもと低い子どもの非認知能力



※ここでは生活保護世帯、就学援助世帯、児童扶養手当世帯を指す。

# 非認知能力が認知能力を発達させる

- ノーベル経済学賞を受賞したHeckmanらは、米国の長期追跡調査（CNLSY79）の分析を行い、「非認知能力」がその後の「認知能力」の発達を促し、その逆は確認できないと結論付けている。
- 特に、8-9歳時点の非認知能力が最も家庭環境の影響を受け易く、この時期の親の投資※が将来の所得に最も大きな影響を与えるという。



非認知能力を育てることが、乳幼児教育に必要である！

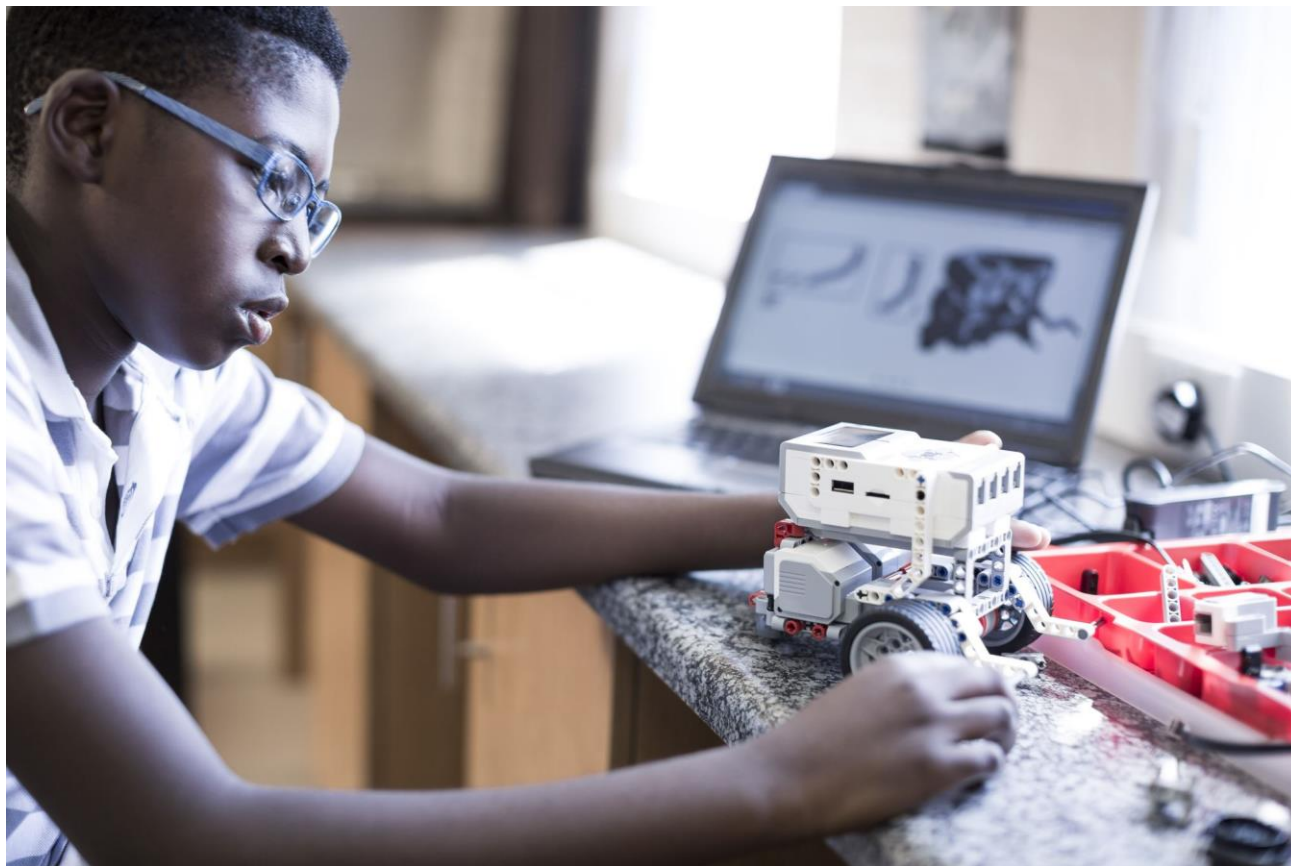
次の野菜や果物は、水に浮くか沈むか？

- |        |     |     |
|--------|-----|-----|
| 1、ピーマン | ①浮く | ②沈む |
| 2、キュウリ | ①浮く | ②沈む |
| 3、ナス   | ①浮く | ②沈む |
| 4、タマネギ | ①浮く | ②沈む |
| 5、バナナ  | ①浮く | ②沈む |
| 6、ニンジン | ①浮く | ②沈む |
| 7、りんご  | ①浮く | ②沈む |

# 4歳児の実験でした！



# 第10章 これから先の社会はどうなるのか？



# Society5.0時代の到来

新たな社会  
“Society 5.0”

5.0



1.0  
Society 1.0 狩猟



2.0

Society 2.0 農耕



Society 3.0 工業

3.0



4.0

Society 4.0 情報



[内閣府作成]

# これから先の社会像を考える

- 1、オックスフォード大学の研究によると、  
あと10年で約47%の仕事が自動化
- 2、「消える職業」「なくなる仕事」として一覧化
- 3、バーテンダーの仕事は、77%の確率でなくなる！
- 3、その他にもなくなる仕事
  - ・スポーツの審判員
  - ・レジ係    ・データ入力係    ・集金人    etc
- 4、なくなるしない仕事
  - ・人間相手の仕事(教師、保育士)
  - ・創造性が必要な仕事

# NTTの自動入退店実験



ロボットがここまで出来るようになった

The Atlas Dynamic Humanoid  
Robot



00:01 / 03:26



# 1、トヨタの世界戦略

## 1、モビリティカンパニーへの移行

### ①コネクティッドシティ

(トヨタとパナソニックの合併会社設立)

### ②バーチャルとリアル

### ③仲間づくり

## 2、家電や住宅設備などの急速なIoT化

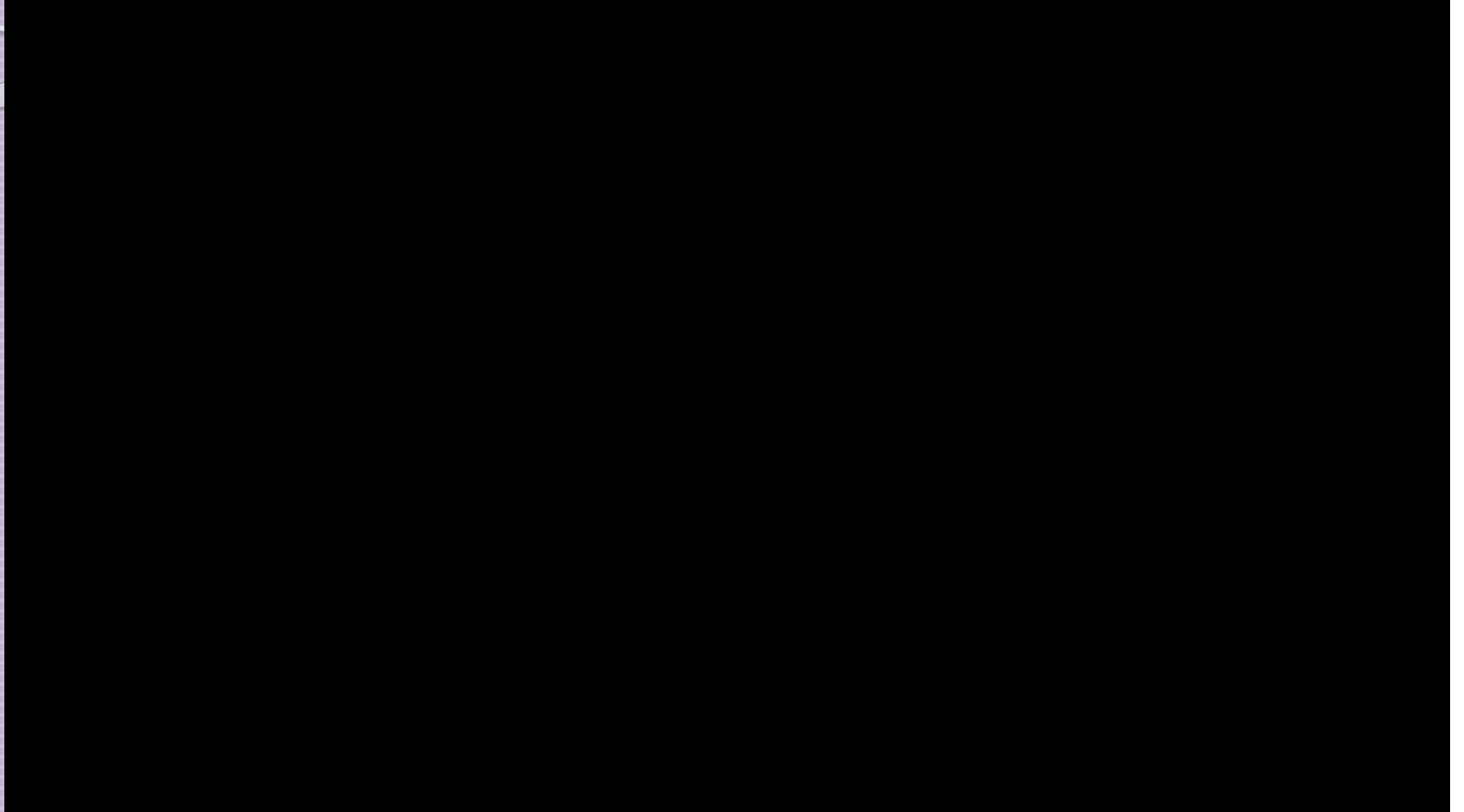
## 3、CASE

(Connected:コネクティッド、Autonomous:自動化、Shared:シェアリング、Electric:電動化の頭文字からの造語)、

## 4、MaaS

(Mobility as a Service:移動のサービス化)

## 2、トヨタ自動車が生産を停止しない日



### 3、トヨタの「e-Palette Concept」



自動運転機能付き電気自動車



[イメージ画像] 移動式テナントの利点を生かして、配達先への到着に合わせてピザを焼くことができる

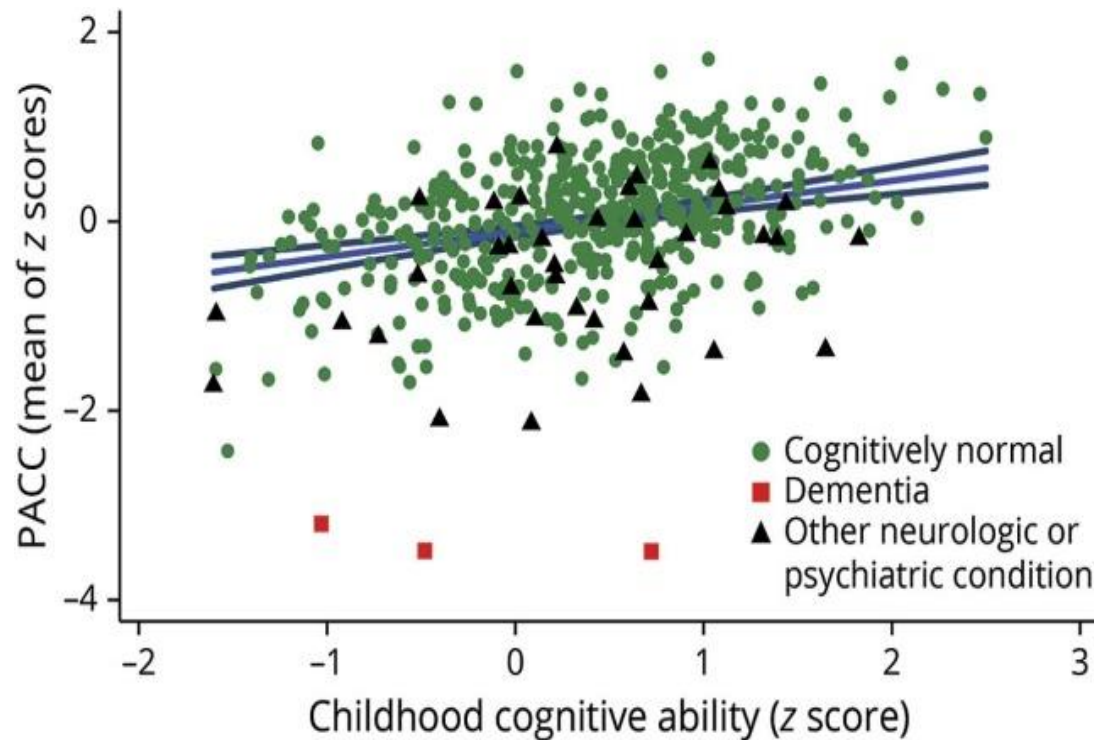
スケルトンで貸し出される

# 第11章 最先端の脳科学が明らかにしたこと



# 1、8歳時点に到達した認知機能が、 70歳の時点での認知能力と関連する

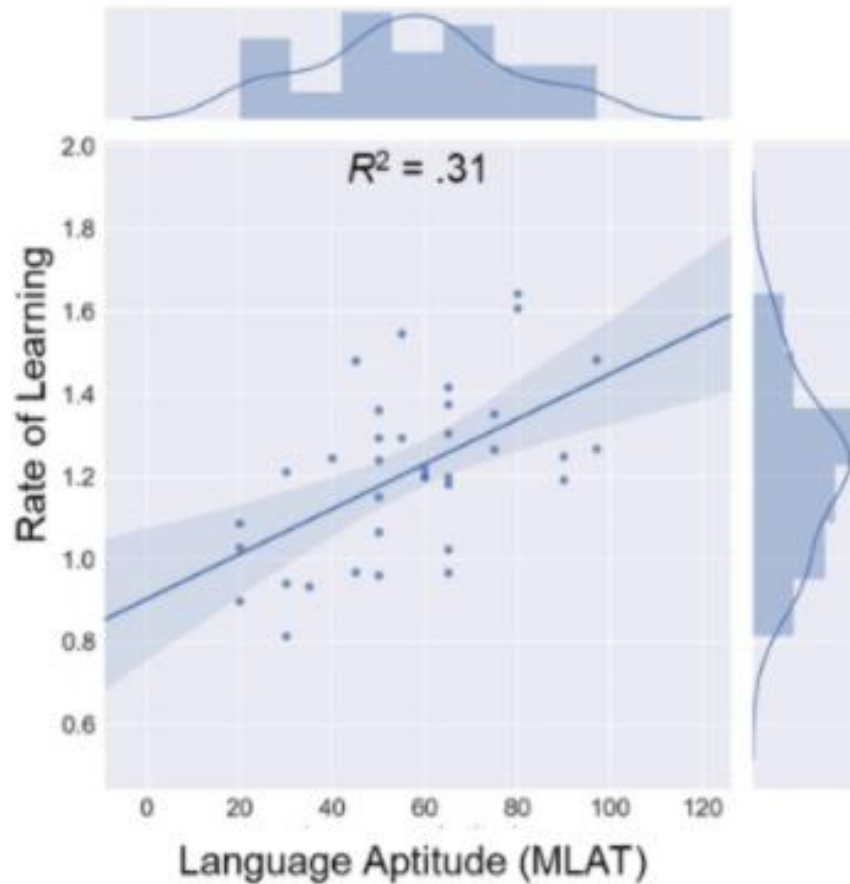
幼年期の認知能力とPACC（前臨床アルツハイマー認知複合）の関係性



ロンドン大学 カースティン氏（2019年12月）

『Cognition at age 70 : Life course predictors and associations with brain pathologies』

## 2、プログラム言語の成績と相関関係にあるのは？



- ①2020年3月にワシントン大学のシャンテルS・プラット氏が発表した『言語の適性をプログラミング言語の個人差に関連づける』という研究論文
- ②数学の専門知識や計算能力の介在する余地は、想像より少なかった。
- ③**プログラム言語の成績と**  
**もっとも相関関係があった**  
**のは、意外にも言語能力で**  
**あった。**

『Relating Natural Language Aptitude to  
Individual Differences in Learning Programming Languages』

### 3、AI時代だからこそ、身につけたい力

- 1、他者と折り合いをつける力
- 2、優れて高いコミュニケーション能力
- 3、子どもの言語環境を見直す

#### ①「意味喪失言語」の増加

・次の写真は、なんですか？



（自在かぎ）



（ラジオ）



（おけら）

#### ②概念のない言葉の増加

・登校と下校      ・ものぐさ      ・昔話      etc

# 4、1年生の「ことばしらべ」

昔話に  
出てくるもの  
5問



少し前のもの  
5問



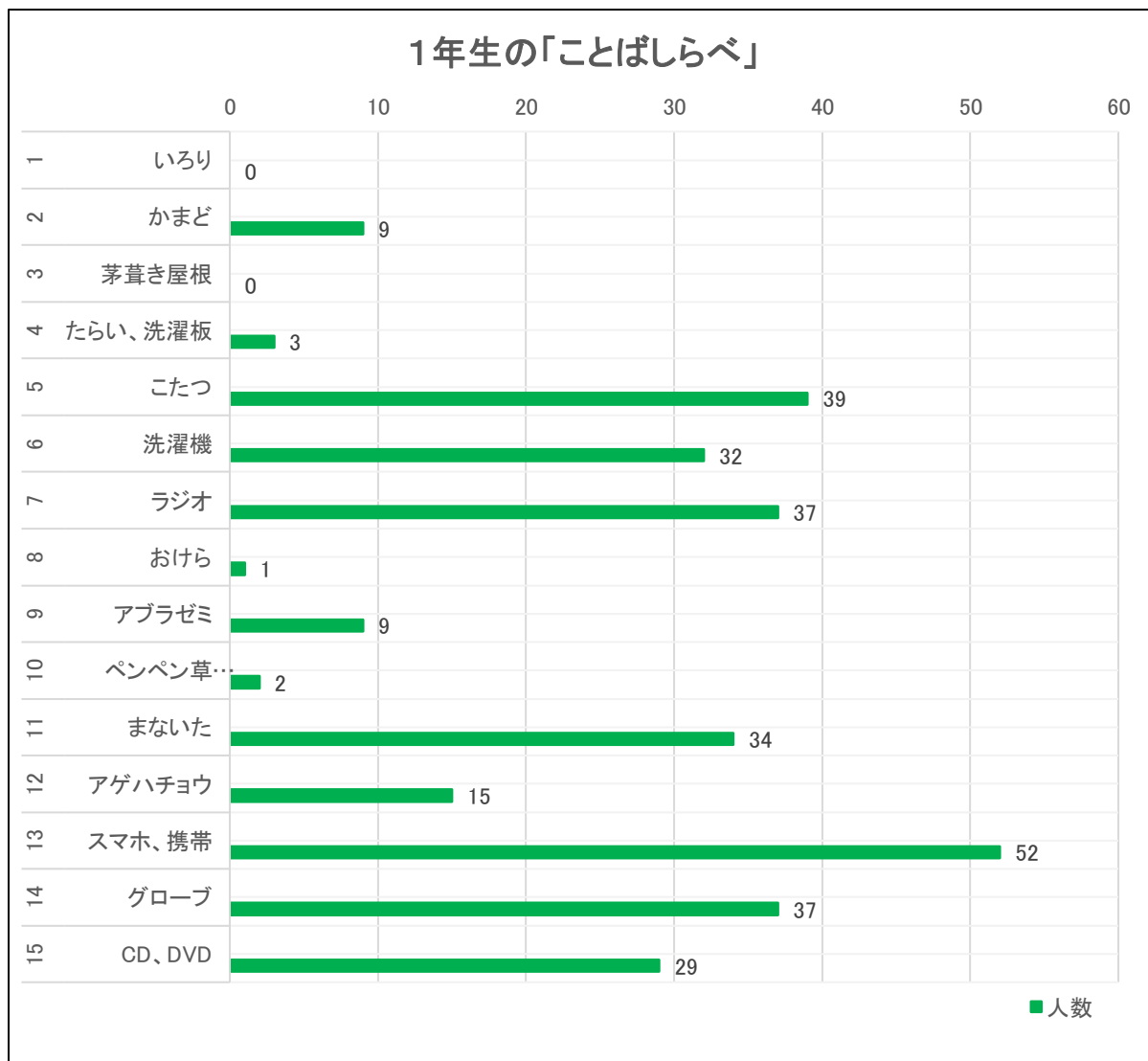
最近のもの  
5問



# 5、1年生の「ことばしらべ」の結果(1)

|    | 正解           |    | 他の答え                | 合計 | 分野別正答率 |
|----|--------------|----|---------------------|----|--------|
| 1  | いろり          | 0  | やかん 28人(正解)         | 28 | 37.6%  |
| 2  | かまど          | 9  |                     | 9  |        |
| 3  | 茅葺き屋根        | 0  | やね 29人(正解)          | 29 |        |
| 4  | たらい、洗濯板      | 3  | おけ 1人(正解)           | 4  |        |
| 5  | こたつ          | 39 |                     | 39 |        |
| 6  | 洗濯機          | 32 |                     | 32 | 44.5%  |
| 7  | ラジオ          | 37 | ラジカセ 1人(正解)         | 38 |        |
| 8  | おけら          | 1  |                     | 1  |        |
| 9  | アブラゼミ        | 9  | せみ 46人、ミンミンゼミ1人(正解) | 56 |        |
| 10 | ペンペン草<br>なずな | 2  |                     | 2  |        |
| 11 | まないた         | 34 |                     | 34 | 71.0%  |
| 12 | アゲハチョウ       | 15 | ちょう、ちょうちょ 35人(正解)   | 50 |        |
| 13 | スマホ、携帯       | 52 | でんわ 2人(正解)          | 54 |        |
| 14 | グローブ         | 37 |                     | 37 |        |
| 15 | CD、DVD       | 29 | ディスク 2人(正解)         | 31 |        |

## 6、1年生の「ことばしらべ」の結果(2)



## 7、「ことばしらべ」から見えてきたこと

- (1) 大人と比べて、子どもの言語環境が激変している。
- (2) 大人が「当たり前」と思っていることが通じない事が多い。
- (3) 昔話などは、まず理解出来ない。
- (4) 「ペンペン草」が分かった子どもが、58人中2人しかいない。自然の中での学びをしていない子どもが多い。
- (5) 最近の物については、比較的理解している。
- (6) 語彙力を高めることに、難がある！

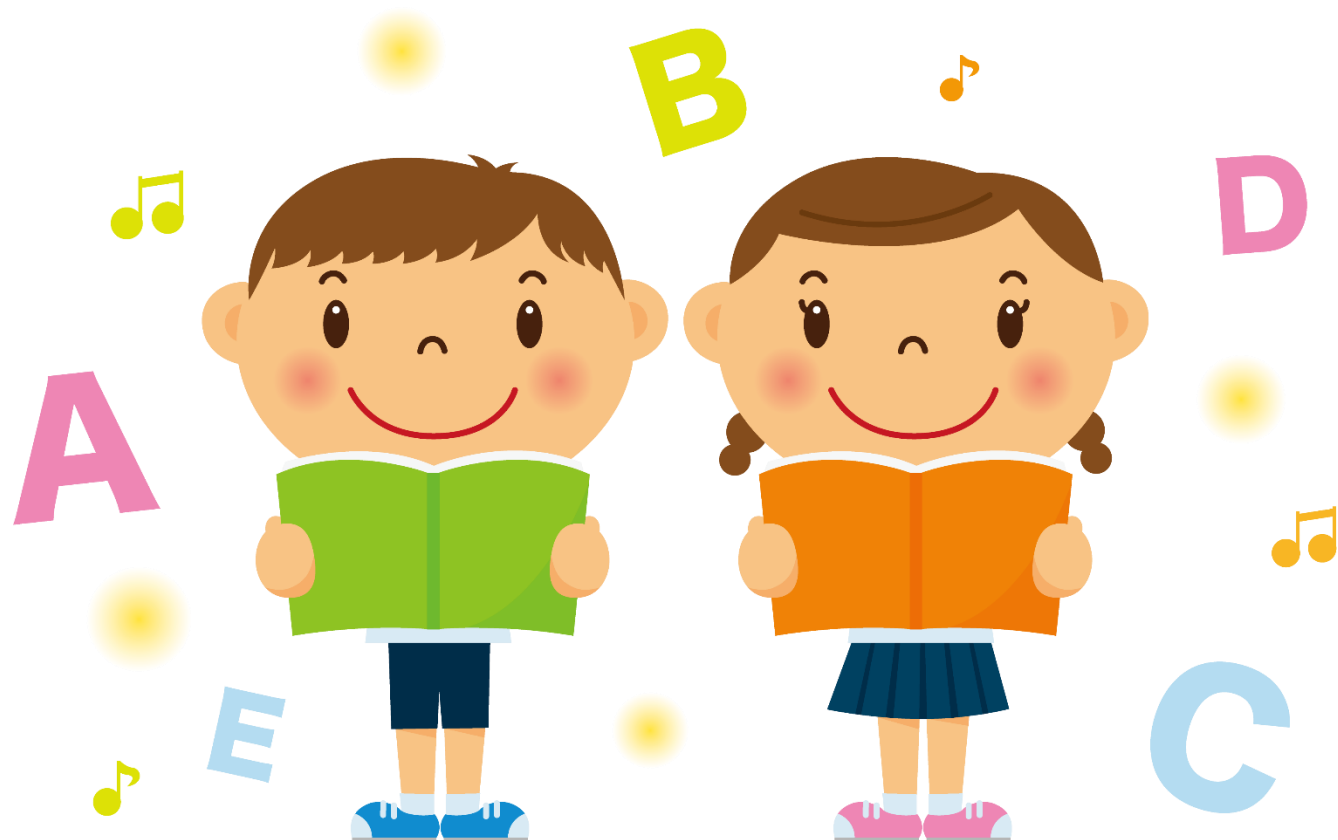
# 文部科学省も危機感！

## ◆指導要領「喫緊の課題」

文部科学省の中央教育審議会は昨年12月、小中高校の次期学習指導要領の答申をまとめ、読解力向上を「喫緊の課題」と位置づけた。国際学力調査で日本の「読解力」の順位が低下したことを受けた措置だ。

答申では、国語を中心に語彙(ごい)を増やし、子供たちに文章の構造や内容もきちんと理解させる指導を求めた。読書活動について、「受け身の読書体験になっており、情報を読み解きながら自分の考えを形成できていないとの指摘もある」と言及。文章を的確に理解し、自分の考えの形成に生かす力の育成を強く訴えた。

# 第12章 本物の学びを考える



# 「主体的・共同的で深い学び」へ

- 1、小学校の課題になっており、アクティブ・ラーニングとも言われている。
- 2、具体的にはどんなもの？
  - ①主体的…子どもが主人公
  - ②共同的…一人の学びで終わらず、他者との学びの交流の中で、自分の考えを深めていく
  - ③深い学び…一人では到達できないところまで行くようにさせる。
- 3、学習の有用感がある本当の学びを

本当の学びは、「生活認識とつながること」で生まれる1

## 「平均のレポート」作成で学びを深める

平均の学習をした後、子どもたちに生活の中の  
ことを調べて、レポートにまとめさせた。

「お母さんの1日に吸うたばこの本数調べ」

—6日間調べました—

|       |       |       |       |      |      |
|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 11/27 | 11/28 | 11/29 | 11/30 | 12/1 | 12/2 |
| 20本   | 15本   | 20本   | 15本   | 10本  | 13本  |

### ☆1日平均の式

$$(20\text{本} + 15\text{本} + 20\text{本} + 15\text{本} + 10\text{本} + 13\text{本}) \div 6\text{日} \\ = 93\text{本} \div 6\text{日} = 15.5\text{本} / \text{日}$$

答え 1日平均15.5本

本当の学びは、「生活認識とつながること」で生まれる2

☆1年間だと

$$15.5\text{本}/\text{日} \times 365\text{日} = 5657.5\text{本}$$

答え 1年で5657.5本吸っている

☆1年間でたばこのために使うお金

$$410\text{円} \div 20\text{本} \times 15.5\text{本} \times 365\text{日} = 115978.75\text{円}$$

答え 1年で115978.75円使っている

☆1日平均何mgニコチンを吸っているか？

$$0.8\text{mg}/\text{本} \times 15.5\text{本} = 12.4\text{mg}$$

答え 1日12.4mg吸っている

☆1年に何mgニコチンを吸っているか？

$$12.4\text{mg} \times 365\text{日} = 4526\text{mg}$$

答え 1年で4526mg吸っている

# 傑作だった、最後の感想

このレポートの結果を見て、お母さんがいっばいたばこを吸っていることがわかりました。平均って、生活の中の事を知ることが出来ることがわかりました。1日平均から、1年の事を知ることわかりました。このレポートを見て、お母さんがたばこの吸い過ぎに注意してくれればうれしいです。

・お母さんへ

ご協力、ありがとう。この表を見て、たばこの吸い過ぎに注意してネ！

それと、1年間で11万円もたばこに使っているのなら、私たちをもっとディズニーランドに連れて行ってもらいたいです。

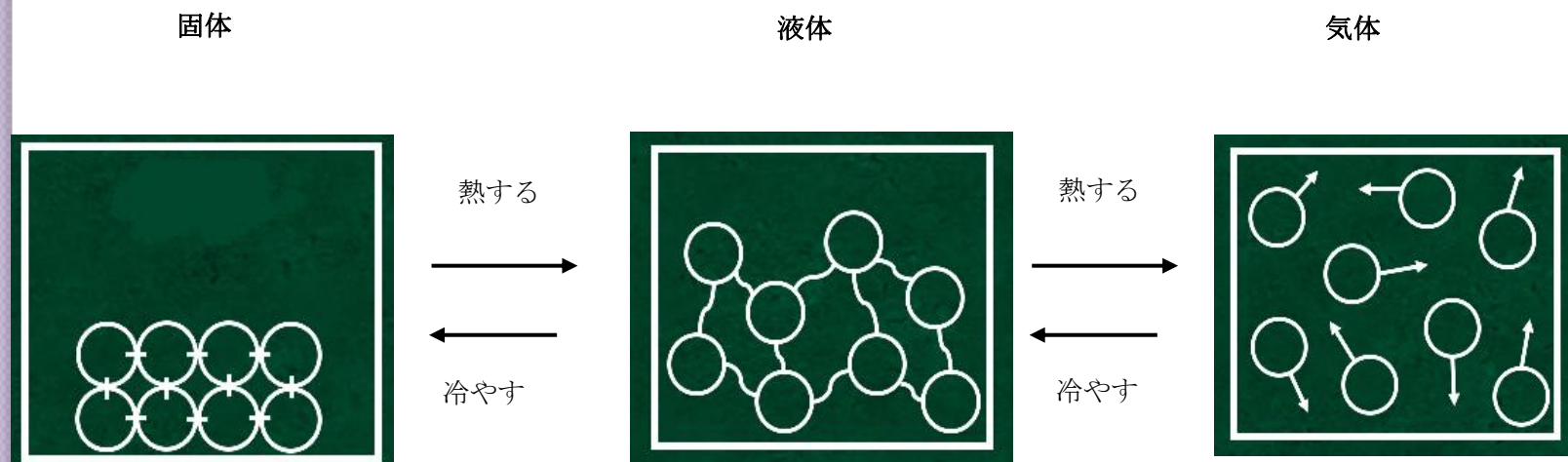
# 1、氷になると体積はどうなる？

- (1) 「非認知能力」を育てる一番のポイントは「不思議だな」「どうしてだろう？」と感じたり考えたりするように促すこと。
- (2) 「あたり前を疑う」ということを中心に考えてみる。

## 【問題】

「水が氷になると、体積は増えるでしょうか。それとも、減るでしょうか。」

答えは(            )



## 2、「花を育てよう」という学習を通して

小学校1年生の生活科に「はな を そだてよう」という教材があります。目標としては、「植物の変化や成長を楽しみながら、親しみをもち、進んで世話をしようとする」です。私は、「アサガオ」「マリーゴールド」「ヒマワリ」「サルビア」「オシロイバナ」などを選ばせ、それぞれを土に植えることにしました。

【問題】「種のかわりに、500円玉を植えたら、どうなるだろう？」

- 1、子どもたちは、「お金が増えるわけない」、「ムリだよ！」の大合唱。
- 2、しかし、クラスの子どもたちは全員、朝学校に来ると、必ず私のプランターを見て、嬉しそうに「先生、何も変化がないよ。芽が出てないよ！」と報告。
- 3、1週間後、子どもたちの種から少しずつ芽が出てきた。
- 4、私のプランターからはいつまで経っても芽が出てこない。
- 5、「どうして、先生のは芽が出ないんだろう？ どうしてだと思う？」と聞いた。
- 6、ある女の子が、「種にヒミツがあるんじゃないの？」と言い始めた。
- 7、種を割ってみると、中に粉みみたいなものと芽の子どもみみたいな物があつた。
- 8、「種の中には芽を出す力のもとになるものと芽の子どもがあるから、土の中に植えると芽が出てくるんだよ！」ということがわかっていった。

# 第13章 フリースクールについて



# 1、「しいの木」の紹介



発達に凸凹があっても、勉強が苦手でも、不器用さがあっても大丈夫です。この「しいの木」では、得意なことや特性を生かし、お子様のまなびのスピードの合わせ、成長をサポートしていきます。

## 2、子どもだけで作る木組みの大きなジャングルジム ～日本の伝統技術を体験～

**14**

Sep.2020



**カンカン！コンコン！  
クサビを打ち込む  
組む・解く（ほどく）で  
大工さんの実感経験**



# 3、「しいの木」の学び

子どもの要求や願いを実現する学びを目指して！



# 4、ウォーターゲーム作り

- ①自分でどんな仕組みになっているのかを考え、ペットボトルで試してみることにした。
- ②中に入れた輪ゴムが100円ショップで買ったおもちゃのように浮き上がってこないことに、『なぜ？』『どうして？』と疑問
- ③その原因として、水の分量とペットボトルの中の空気の比率に関係があるのではないかと？
- ③事と輪ゴムの重さが軽すぎるのではないかとという仮説をたてました。
- ④次の日、実際におもちゃを分解してゲームの仕組みを見てみながら紐解いてみることにした。
- ⑤おもちゃを分解するワクワク感、どんな仕組みになっているのかというワクワク感から、子ども達が熱中。
- ⑥仕組みが分かる毎に子ども達は「あっ！これじゃない？」「わかった～！！」と大興奮。
- ⑦仕組みは大体わかってゲームにできるまでには試行錯誤。
- ⑧探求心に火が付いた子ども達は諦めることをせずに実験し続けました。
- ⑨ウォーターゲームを通して、空気の力を学んでいます。

# 5、ウォーターゲーム作りの様子



市販のゲームを分解



自分たちのゲーム作りへ

## 6、インドカレーから香辛料の表現を

- ①外国についての学習で、子ども達がインドを選択。
- ②インドについてインターネットで調べた。
- ③その後、実際にインドカレーを食べ、カレーについての文化を外国の方に教えてもらった。
- ④カレーが香辛料から作っていることを知り、しいの木でも19種類の香辛料からカレーを作ってみた。
- ⑤香辛料ひとつひとつの匂いを嗅いでみての子ども達の表現の仕方は全く違っていて、とても面白い活動となった。
- ⑥五感をつかったの体験的学習は学びの多様性を生んだ。

# 7、カレー作りと香辛料調べ



# 8、しいの木caféを通して「収益」を学ぶ

- ①日々の活動の中で実験の様にして作ってきたお菓子やコーヒーを販売することにした。
- ②cafeで何をいくらで売なのか、原価計算から行う。
- ③また、手作りのレジスターも作成。
- ④レジスターの仕組みをおもちゃを参考にしながら作っていますが、ちゃんとお金が入っているトレーが出てくる仕組みになっていたり、打ち込むところはiPADを使ってみるなど斬新なアイデアも生まれています。
- ⑤お菓子も小さい子に食べてもらうにはどうしたらいいのか、大人であれば何個入りがいいのか、販売価格はいくらが妥当なのかなども大人に調査しながら何日も何日もかけて決めました。
- ⑥自分たちで作り上げたcafeだったので、全員が役割をもって参加し大成功に終わりました。

## 9、しいの木caféを通して「収益」を学ぶ



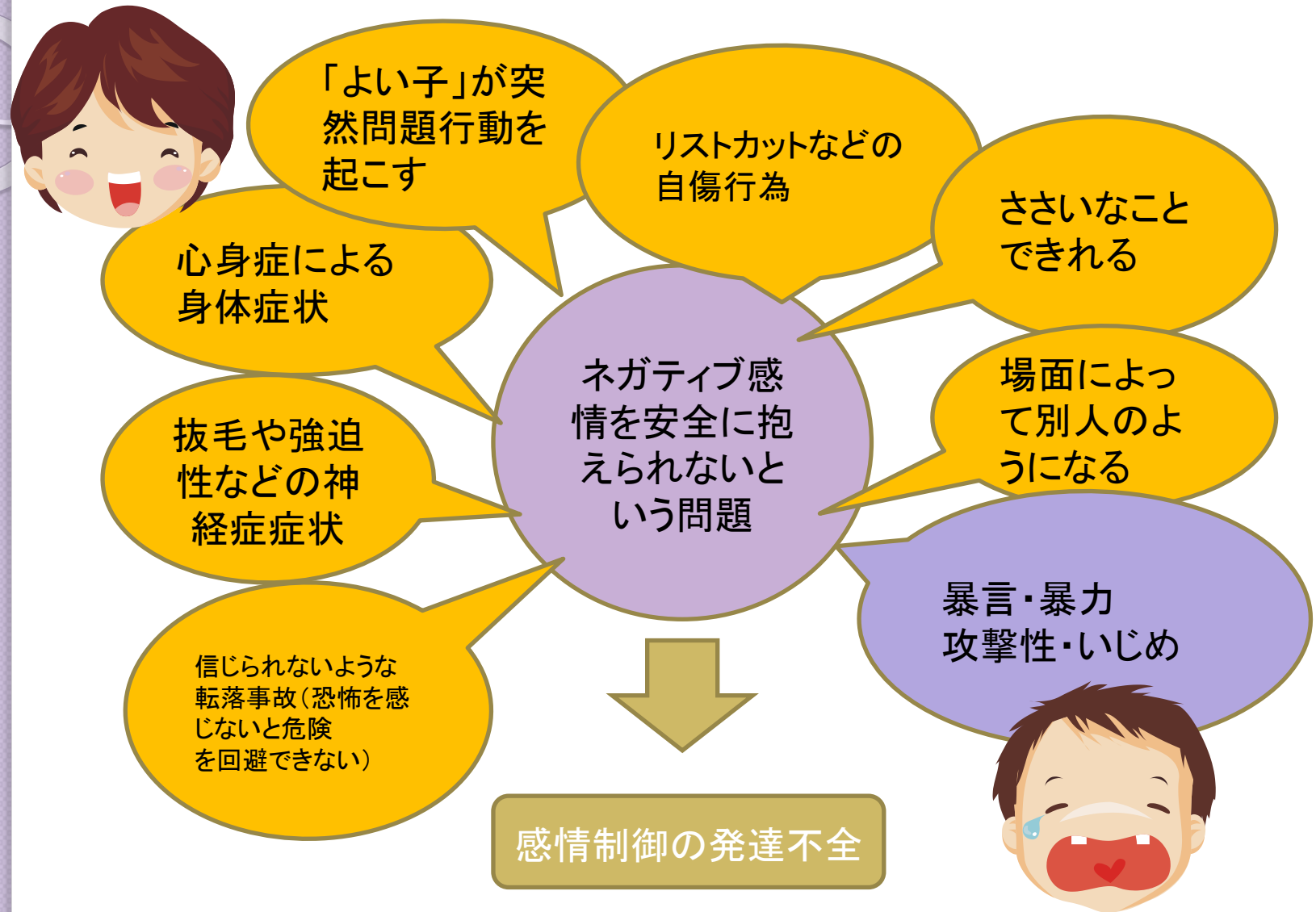
# 10、「しいの木」が大切にしていること

- (1) 子どもの「問い」と「答え」の間を大切にしている。
- (2) 子どもの要求からスタートする学び
- (3) 困難さを抱えている子どもの思いを大事にし、その困難さから学ぶ！
- (4) 大人も子どもも育つ「共育」
- (5) 学校へ行けない子どもの抱えている苦悩
  - ・不登校の子どもが描いた学校像
- (6) どの子どもが喜んで学ぶ教育のあり方を追求
- (7) 子どもは命を燃やしながら生きている！ だからこそ、「学び」が子どもの生きがいになるべきであること

## 第14章 子どもの不快感情を共有すること —今の子どもに必要な力—

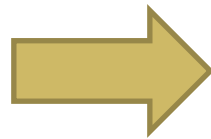


# 「感情の育ち」の危機状態とは？



# 安全に抱えるとは？

- 1、不快なままでいられる  
(イヤな気持ちのままでいられる)  
(例) 図工で誰かをほめた



ほめられない子が  
パニックを起こす

※抱えられない

- 2、感情制御の力
- 3、不快にならないことが良いのではない
- 4、不全⇒補われるとなおっていく！

# 不快感情を大事にし、言語化する

1、感情豊かな子に育てよう

⇒ ポジティブ感情が中心

2、ネガティブ感情も含めて大事にする

(例)「スコップ取られて怒ったんだよね」

「うまくおこれたね～」

※「他にもスコップあるから、これでいいよね！」

というのは、不快感情の処理能力が高まらない

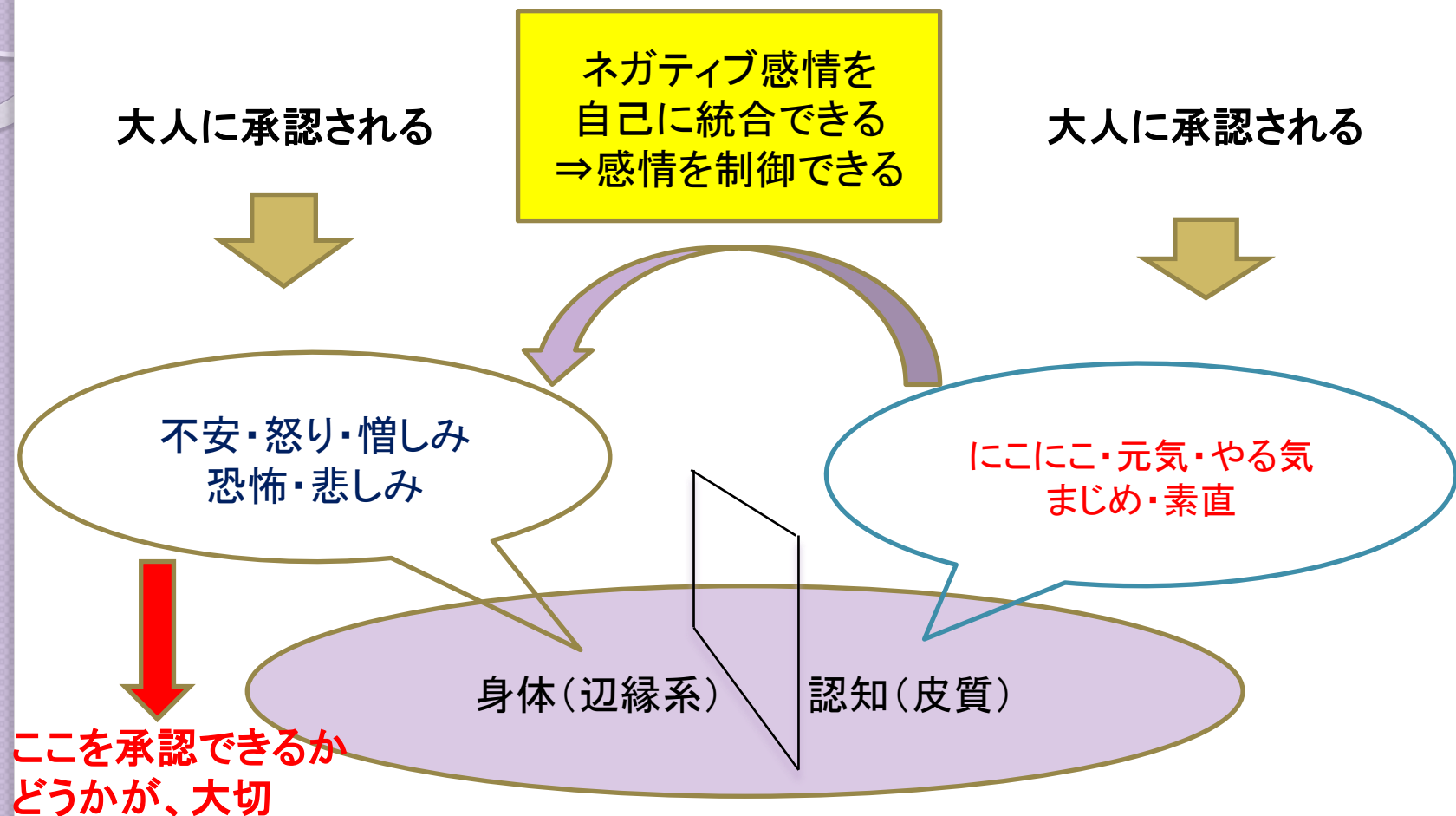
3、ちゃんと怒れるように大人が促す

4、落ち着く時間を作ってあげる

5、不快感情の言語化

「1番じゃなかった。殺してやる！」⇒「1番じゃなくてくやしい」

# ネガティブ感情を統合した発達の姿



「イライラ虫さん、どうしたの？」 ○  
「イライラ虫さん、退治しよう」 ×

子どもの感情

# まとめとして 1

## 1、不登校状態にある児童生徒への対応

- ①福祉課と情報共有をする体制を作る。
- ②最初に紹介した安男の例は、まさに福祉課の出番

## 2、不登校児童生徒・保護者への対応

- ①「不登校をするのは、ダメな子だ」という見方ではなく、  
「援助を必要としているのだ」と考える。
- ②感覚過敏の子などの場合は、特別な配慮が必要

## 3、居場所と、子どもの将来性

- ①まず、「生きていて欲しい」ということを伝える。
- ②学ぶ楽しさや生きる楽しさを伝える。

(食べ物を作るとか食事を作るなど)

# まとめとして2

## 4、学校でない場所を選択した場合について

①学校だけが全てではないことを大人が理解する。

②多様な生き方や多様な進路が選択できるようになっている現状を伝える。

(通信制や単位制高校等)

③学校での一番のメリットは、「社会性が育つ」ことである。不登校によって、「社会性の育ち」が不十分になる可能性がある。

## 5、「学校」と「居場所」との関係性

①「学校に行くことがベスト」だとか、最終目標を登校に置いたりしない。

②学校の教師も、その子に合った別の「居場所」を探してあげる努力をする必要がある。

③学校がその子にとって、フィットしない原因を考えることが全ての子を大事にすること。

④多様な居場所を用意し、その子に合った居場所を進める方向で考える。